



## 第八章

笠井まつりの歴史（帯屋 池田充義調べ）2025.01.14

## 第八章 笠井まつりの歴史

### 笠井まつりを継承した人々・その時代背景の歴史（帯屋 池田充義 著）

（推測もあります。間違い箇所は訂正したいのでこの HP のお問い合わせからご連絡ください）

古文書から引用

「平安時代に公地公民の制度は崩れ笠井は藤原氏管轄の荘園になった。若倭神社はあくまでも一部族の氏神で、春日神社は藤原不比等（藤原鎌足の次男）が奈良時代に、春日大社を建立した人物で、その分祀が春日神社で、若倭神社が合祀されたのは自然の成り行きである。」

春日神社の 500 年余の伝統を受け継いできた笠井の氏子は天竜川の流れに乗り未来へと続いて行く

※神輿（みこし）とは神幸の際に神霊が乗る輿、屋根の中央に鳳凰を立、かつぎ棒に大勢で担ぐ。又かつぎ棒を白丁数名で担ぐ。祝砲を合図に厳粛な中、雅楽の調べにのり渡御は始まる。沿道に膝まずき、御神体に向かって家内安全、無病息災を祈る。行列の後ろから若連達が太鼓や笛の祭囃子の音色で祭典を華やかに盛り上げます。翌日は還御が行われます。伝統と

由緒ある町の行事です。

2020年令和5年 下書き（池田充義）村木千代八さん校正。 2023年 令和6年 再度、池田充義 修正。

笠井と遠州の歴史をすでに先人が書かれたものを取り入れながら、その時代背景の中で笠井町の祭りがどのように始まったのか？祭りを継承した人々を中心にまとめてみた。

しかし、聞く先輩はすでにいなくなっていて、空間がかなり空いています。

新しい資料が出て、この資料をさらにまとめてくださる方に期待して調べた範囲で書き出しました。

西暦	和歴	足跡（推測もあります。間違い箇所は訂正ください） 年齢は満年齢で記した。赤字は棟札や古文書より抽出した。その時代は多分こうだったのではないかという見方も私的（池田の感想）にしています。
703	大宝3	頭陀寺 <sup>ずだじこんりゅう</sup> 建立 浜松で最も古い寺
708	和銅1	出雲國 <sup>いずものこく</sup> から勸請 <sup>かんじょう</sup> して服織神社 <sup>はなおりじんじゃ</sup> が豊町羽鳥に創建された
713	和銅6	遠江國 <sup>とゑとうみのくに</sup> と改める 墾田永年私財法とは身分によって所有面積に限度を設けた法律
761	天平	古代天竜川 <sup>こたいてんりゅうがわ</sup> の麓玉川 <sup>あしたまがわ</sup> が決壊し、延べ30万人を動員して堤防を復旧する。（天 <sup>てん</sup> 宝 <sup>ぼう</sup> 堤 <sup>つみ</sup> ）と称した
852	仁寿2	藤原良房 <sup>ふじわらよしふま</sup> が清和天皇の為に嘉祥寺西院 <sup>きやうじょうにしん</sup> を京都伏見 <sup>きよとうしみ</sup> に建立する。後の貞観寺 <sup>じょうくわんじ</sup> と改められる。清和天皇の母は藤原北家良房

		<p>の娘、文徳天皇の第四皇子、858年9歳で即位して26歳で退位、摂政・関白は藤原良房・良房の長男の藤原基経。（摂関政治とは天皇の外戚として天皇を支えて政治を行うこと）</p> <p>日本三大實祿は文徳天皇の後を受けて、清和天皇、陽成天皇、光孝天皇の30年を記した史書で全50巻（榎吉文書より）</p>
863	貞観5	<p>清和天皇が頭陀寺を定額寺に指定した。（国家に一定数を限った特別な寺）（榎吉文書より）</p>
864	貞観6	<p>大日本地名辞書 <b>長上郡</b> 明治29年廃して<b>浜名郡</b>へ併せられる。敷地郡の東にして天竜川沿辺の村里を総て中世には郡界移動はなはだしく、其の名も中郡と呼びしが近世に至り長上郡を復興したのも和銅の旧域にあらず即ち近世の長上郡は右の<b>扨鹿玉郡</b>并に長上郡の一部を<b>籠め</b>而も長上郡は豊田郡管内に入りたり。</p> <p>今の<b>笠井町</b>其の旧域とす。和名抄長上郡長及び可美鳥栖六郷に分ちたり。今の笠井町清和記・<b>貞観</b>六年長上郡 田地<b>一百六十四町</b> 特選神名帳 <b>鹿玉四座並小</b> 清和天皇は長上郡の田地164町を<b>貞観</b>寺へ施入する</p>
865	貞観7	<p>清和天皇が長上郡の空閑地160町を貞観寺へ施入。第六子貞純親王四品号<b>桃菌親王</b>の補任の準備をしたと考えられる。補任とは、官職を任命する。位階を与える事を言う。（榎吉文書より）</p>
1025	萬寿2	<p>再建の棟札を有し、延喜式神名帳に所蔵されている。<b>延喜式神名帳</b>は927年である</p> <p>（宗長手記）（重編応仁記）1513年永正11年の（笠井）と記された古文書があるがよく調べてみると笠井と市野を書き間違えて記していると考えられます。笠井荘という荘園は存在しない、笠井は長上郡に属して羽鳥荘の一部で時には中郡の</p>

		<p>一部であった。古くは美園郷厨<small>みそのごうくりや</small>（小松～市野が郷厨に入った）室町 800 年～1500 年）までは美園郷河西<small>みそのごうかさい</small>と書かれたものは存在する） 村木千代八手記より</p> <p>若倭神社が若林に再建されると春日神社縁起<small>かすがい</small>にかかっている</p>
1177	治承 1	法然上人の弟子、西伝法師が西伝寺を創建する。 笠井の法永寺と定明寺は西伝寺の末寺。
1181	養和 1	羽鳥庄は京都・新熊野社領として寄進される
1192	建久 3	頼朝は征夷大將軍となった
1324	正中 1	<p>碧王山笠井院法永寺が臨濟宗・覺源和尚<small>かくげんおしょう</small>により開創された（寺誌）遠江風土記伝<small>ととうみふどきでん</small>によれば、</p> <p>長上郡の郷名に（碧海）（安乎宇美<small>あおいうみ</small>）とあり笠井郷は碧海郷の中にあり碧海池。淵沼笠井にありとあることから、碧王山・笠井院法永寺となったと考えられる（榎吉文書より）</p>
1467	応仁 1	<p>畠山<small>はなけやま</small>・斯波<small>しば</small>の争い、細川と山名が介入して11年の大乱を応仁に乱という 莊園制が解体し、戦国時代へ</p>
1482	文明 14	<p>室町幕府第9代將軍足利義尚<small>あしかがただしなむね</small>公禁制、遠江國に笠井明神<small>かさいみょうじん</small>、森林に放牛馬事、付け竹木材採覚之事。</p> <p>右於有違犯之輩天合の似</p> <p>可押捕物類返皇 左記上就、難涉之從者 悦進之上可下知者也仍如件 三月廿日 笠井明神神主 （石神文書）</p>

1500	明応 9	笠井村が出来たのは室町の終わり頃。それまでは荒れ地で米がとれない畑作であった。長上郡美濃荘若林郷と表示された (村木千代八手記)
1541	天文 10	遠江國笠井明神宮造營事 任先例可致 其汰之状 如件 治部大輔 (花押) 飯尾豊前殿 (石神文書)
		第 2 2 代次男貞太は三河國へ出陣して父子 3 人討ち死。当時の引馬城主井伊豊前守に仕え勲功ありとして姓を <sup>えのよししょうばん</sup> 榎吉将監 と改め、苗字帯刀を許され商家となり、笠井を中心とする <sup>えんしゅうほくぶ</sup> 遠州北部を統括する、 <sup>あぶらとう</sup> 油等を一手に取り扱う (美濃屋) 屋 号の店を開いた。(山口県浅海家系譜より)
1566	永禄 9	松平家康は徳川家康に改名した
1568	永禄 11	家康は引馬城へ
1569	永禄 12	家康遠州全土を支配下とする
1570	元亀 1	岡崎城から引馬城へ移る。浜松城と改名 家康 29 歳 17 年間居た 額照山・法光院が笠井新田に開創された。 浄土宗 無量山・宝瑞院・定明寺と改名された。 浄土宗
1577	天正 5	笠井院泰龍山・法永寺 は浄土宗に改宗した。 法永寺の開基は榎吉家の先祖 奉 造立 若林大明神願成就御宮 一切衆生 今者已満足 (山下嘉三氏 棟札)
1578	天正 6	天正 7 年、天正 9 年に浜松城を改築。美濃から浜松城現場監督として、榎吉家の先祖が来た。その後笠井村に住む?

		榎吉家は、村と村の境界の杭を打つ役人だった。馬の鞍が残っていた。尉という役名が付いていた・両者の意見あり？榎吉家文書より
1592	天正 20	定明寺は本堂火災 檀家の寄付金で再建 (定明寺住職の話)
1596	慶長 1	白龍山現成寺 開山 松島源右衛門開基 後の(曹洞宗 龍雲山 源長院)
1597	慶長 2	笠井新田 春日神社創建。 定明寺本堂火災 池田庄三郎が多額の寄付金をだして再建 (定明寺住職の話)
1601	慶長 6	其神領之事 合五石也 右は寄附被成る下也 於神前 国家安全之御祈念不可有懈怠者也 仍如件 慶長六丑二月十八日 伊奈備前忠次(花押) 笠井明神 ※伊奈忠次は家康の家臣で東海地方お検地奉行を務めた。(1550~1610)
1603	江戸幕府	家康の命を受け、角倉了以は材木を掛塚へ輸送する為に川底工事を請けた。そして天竜材は江戸へ運ばれ城下町を造る一役を担った。  これにより、掛塚には名工、豪商が生まれた。神社が建立され、江戸文化が入り、神輿、屋台、が建造されていく  神輿の渡御に続き、氏子の若い衆が屋台を曳き、神輿のお供をしたことから祭が始まったと伝えられている。
1608	慶長 13	春日神社棟札 奉造宮大明神 遠州長上郡若林郷 神主 神家三郎衛 慶長十三年戊申十一月十五日 大工藤原経久 嘉左衛門 喜五郎  庄屋制度を組織。有力農民や土豪から指名した。組頭(読み書き算盤ができる庄屋の事務補佐役) 百姓代(は庄屋が指名) 検地帳・土地台帳で検地された所を村と呼んだ。五人組(年貢の連帯責任を負う)。笠井村は山下佐治兵衛が庄屋に指名された。

1622	元和 8	浄土宗 安国山・養門寺 創建
1629	寛永 6	米保田屋 初代「法誉道光居士」逝去 定明寺の位牌 山下佐治兵衛の親戚にあたる
1639	寛永 16	遠江國長上郡若林郷 奉造堂大明神一宇所 寛永十六年正月二十六日  木板 藤原家朝臣山下佐治兵衛泰正。山下二郎左衛門泰直。山下十三郎泰光。山下忠二郎泰順。大工・藤原朝臣彦左衛門、鍛冶・彦五郎、五郎太夫、五郎左衛門。神主 忝本喜太夫秀光。  新田村・高井佐平次、高井六佐衛門、田龜弥兵衛。末島村・須山茂兵衛、斎藤惣左衛門、袴田伝左衛門、七郎左衛門（山下嘉三所蔵） （山下家は五つの山下、榎吉家、池田庄三郎がこれまでに名前が出てくる。笠井のリーダー）池田感想
1648	慶安 1	笠井の市が、遠州の商人が集結するようになったのは、浜松城主太田備中守資宗が、塩と海産物を塩町と肴町商人に出張販売を許可した事により、笠井の市は大きな飛躍をとげ、文化人は寄り、地域の特産品を商人が運んだ。笠井の豪商が生まれた。（池田庄三郎）  笠井の市の特徴は、遠近の商人が店を開き個人で売買する。借りる店先の賃金以外は、自由に商売ができたので、売れただけ儲かる仕組みで人気があった。農家の野菜も直接売ることができた。農家の夜なべで作った草鞋、縄も売れた。店先を貸して家賃が収入源だった。笠井の住民は金納だった。  御朱印写し 遠江國長上郡笠井村春日明神 社領同村内五石事 任先規寄附金可収納並び社内竹木諸役等免除之如有永有相違者也  慶安元年十月廿四日 遠江國長上郡笠井村春日明神 領同村之内五石事任

1652	承応 1	大庄屋山下佐治兵衛は隠田が見つかり、責任をとって自害した。
1653	承応 2	笠井村検地帳 浄明寺前、宮下、弥きかいと、若太夫かいと、宮前、光福寺前、若美屋、高見、衾き東、とうがく東、ワカ林、志やくじ、西浦、南浦、東浦、本市場 (榎吉竹治所蔵)  笠井村検地帳 池田庄三郎が代筆と古文書にあり
1664	寛文 4	寺請制度 (檀家制度) ができる。寺で戸籍を記録。(過去帳) 士農工商 (身分制度)
1670	寛文 10	3月8日 初代帯屋「来室秀本居士」 源長院の檀家となった。 戒名から本百姓ではないか?
1674	延宝 2	奉 造立八王子宮守所 藤原朝臣神家三郎兵衛 増太夫石神、遠州長上郡若林郷 延宝申丑年霜月十二日 山下六郎左衛門、山下次郎左衛門、新田村・高井多郎左衛門、田邊弥太郎。前島・森島七郎右衛門。寺島村・大工藤原朝臣・大村多郎右衛門正重 加藤五郎右衛門
1677	延宝 5	笠井村家数 89 軒。上西 10 軒、上東 10 軒、中東 12 軒、中西 12 軒、下東 11 軒、下西 11 軒 本百姓 66 軒 (岡部家所蔵) 中東に池田庄三郎。中西に山下佐治兵衛、榎吉将監 の屋敷があった。  嘉永 7 年と明治 22 年の地図より 池田感想
1683	天和 3	羽鳥庄 松島忠兵衛常茂は 源長院の本堂、仏具、土地を寄進した
1685	貞享 2	慶安元年九月十七日先刻之旨 寄附之諸金可収納重 社中 竹木諸役等免除如有来永不可有違者也 貞享二年六月十一日 遠江國長上郡笠井村春日明神 領同村之内五石事並びに社中 竹木諸役等免除依当家 先判之別 永不可有相違者出 (石神文書)

1697	元禄 10	笠井上 <small>かすがじんじや</small> 春日神社 再建
1713	正徳 3	豊町下 <small>みたはじんじや</small> 御嶽神社 創建
1719	享保 4	春日明神 神主 神谷三郎兵衛。 住吉明神 神主 山下佐治兵衛。雷明神 神主 山下佐治兵衛。 豊雷神社 創建
1758	宝暦 8	笠井の市は、 <small>かみくみ</small> 上組 <small>なかくみ</small> 中組 <small>しもくみ</small> 下組と呼ばれた下木戸、 <small>しもきど</small> 上木戸
1770	明和 4	全国的に大飢餓 吉田家裁許状写 布斎服之事 許容 藤原正清諸向後 可着用之状 如件 明和七年閏六月廿七日 神祇宮領長上ト部朝臣 遠江國長上郡笠井村春日明神 神主 神谷三郎兵衛 藤原正清着 風折 烏帽子 狩衣 任先例専守社
1781	天明 1	笠井村不作
1783	天明 3	浅間山大噴火 天明の大飢饉 天災が襲う
1786	天明 6	笠井村一揆
1787	天明 7	山下佐治兵衛 屋敷全焼 笠井往還が全焼した。 笠井の古文書が焼失した。 笠井往還に新しい商人が進出するチャンスになった (池田感想)

1789	寛政 1	藍栽培、木綿栽培 綿実から油 綿から綿糸 綿布を織る 油屋池田庄三郎の名前が出てくる
1799	寛政 11	和泉屋（木俣千代八）永代帳から天保 6 年 36 年間の記録が保管されていた
1800	寛政 12	とおとうみふどきでん 遠江風土記伝 豊田郡は砂土にして水田なし、笠井村は陸田にて紫草、藍、絹、綿、生姜、を換金作物としていた。禰宜屋敷と言うありて、昔神谷家の居住地なるが其の前を、若倭前と言う。  神谷家は、元は若倭部と言ひ、社地を倭下林（わかばやし）と言うにより注進状には此の地と定めれば、しばらく之に従えり。 内山真龍
1083	享和 3	職格式可抽太平精祈者 裁許状 如件 享和三年八月十一日  神祇宮領 長上正三位侍卜部 朝臣良連
1804	享和 4	正月 笠井中組の講 秋葉灯籠建立
1806	文化 3	池田庄三郎勝彦 51 歳で逝去
1808	文化 5	中組から下組へ 50 軒焼失する。 たちばなや かつさだ もとうおまち 橘屋 池田庄三郎勝定は浜松城下の元魚町へ引っ越した。 池田庄三郎の屋敷は中町にあった（池田感想嘉永 7 年地図 明治 2 2 年地図より）羽鳥村庄屋 松島右衛門の書いた、羽鳥村人名簿に、池田庄三郎の件が書いてある。勝定は羽鳥村の人ではないか？
1814	文化 11	大干ばつ 大洪水、水疱瘡大流行

1817	文化 14	綿作面積圧倒的に増加する。
1818	文政 1	掛塚 <sup>かけつか</sup> では神輿 <sup>みこし</sup> が漆で塗り変えと記事有 神社の祭事が行われていた 海難防止を願う庶民の信仰
1819	文政 2	笠井下組が焼失した (川嶋家文書)
1820	文政 3	笠井の市で綿織物の取引が始まる。和泉屋は農家に実綿から打賃を払い繰綿とさせ、綿布を織らせ染色をさせて木綿商をしていた (繰り綿とは綿を繰る車にかけて種を取り去っただけで精製していない綿をいう)
1825	文政 8	遠江國長上郡笠井村住吉明神神主 山下隼人 藤原貞伸着 風折 烏帽子 狩衣 任先例専守社職格式可抽太平精祈者 神道裁許状如件 文政八年四月十一日 長上正三位侍従卜部 朝臣松長 諸書所載 笠井の庄屋は山下佐治兵衛隼人ではないか？
1834	天保 5	5月 笠井下組は南の端に 秋葉灯籠を建立
1839	天保 10	榎吉勘三郎 (子育地蔵) を建立した。第 23 代に榎吉改姓～第 32 代重廣・榎吉勘三郎) 榎吉文書より 榎吉姓から 10 代目の方。(現在笠井第三自治会で管理している。)
1840	天保 11	下組 火事
1841	天保 12	遠州長上郡笠井村 正覚院親之
1845	弘化 2	浜松藩主井上河内守正春 <sup>まさはる</sup> は上野館林 <sup>たてばやし</sup> の織物 <sup>おりもの</sup> の技術を導入。小山みいに伝授。 小山みいは、綿織物を後輩に指導して広まる

1848	嘉永 1	笠井新田 春日神社社殿 焼失
1853	嘉永 6	二俣 余興は花火、 <small>ふねやだい</small> 船屋台、素人芝居
1854	嘉永 7	<b>安政の大地震</b> 震度 8.2 東海 死者 3 千人
1854	安政 1	木俣くら 10 反引き織機を発明、(従来は 1.2 反織) 能率アップ、生産増大
1860	万延 1	天龍川 中瀬、永島、倉中瀬堤防切れる
1861	文久頃	<small>にりんやたい</small> 森町に二輪屋台あり
1862	文久 2	常光地内の大囲堤 (集落を囲んだ堤防) が切れた
1864	元治 1	横浜で貿易商社 ( <small>えんしゅうや</small> 遠州屋) を開業。笠井の <small>こうじやせいろく</small> 糶屋清六 安間村 <small>きんばらきゆうへい</small> 金原久平等の共同出資で行う
1865	慶応 1	二俣新町 <small>やたいうんこう</small> 屋台運行の記録あり 掛塚から二階造りの金屋台を購入して曳く。
1867	慶応 3	大政奉還 王政復古
1868	慶応 4	6 月 10 日 天竜川決壊、中善地は松島吉平、石原村は松島授三郎と神谷正信が報徳手法を実践し復興に尽力した。十湖池できた。
	明治 1	9 月 8 日 明治時代が始まった

		<p>11月笠井村は、山下佐治兵衛庄屋屋敷が襲撃され家屋全焼する。乱暴人600人。古文書紛失</p> <p>池田庄三郎勝光は慶応4年遠州報国隊へ1千万両、朝廷に11万両を寄贈した。 この時期に笠井の敷地を売却したのだろうか？ 和泉屋為吉（池田為吉33歳）</p>
1869	明治2	<p>版籍奉還。浜松城引き渡し 1月井上八郎浜松奉行として来た。浜松藩消滅</p> <p>身分制度崩壊。武士は、開拓民、商人に転身、地方の役人、警察官、学問の師などに道を開いた</p> <p>廃物稀釈 福来寺の巻物はそのために下書きしたものと思われる この巻物が笠井の歴史の材料になっている 解読してある（鈴木武先生）別紙にて保管</p> <p>掛塚湊は掛塚港となった。は材木需要が増して、活気を呈する。伊那～二俣～掛塚までは2時間で、上りは7日かかった。</p>
1870	明治3	<p>末島に「栄徳霊神」鎮座。御嶽神社</p>
1871	明治4	<p>11月15日浜松県 林厚徳就任。戸籍法が公布された、庄屋の名前は消えて、戸長と呼ぶようになった。</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長加藤直次郎 22歳、副戸長榎吉太八 19歳 百姓代本町・青島忠平 28歳、中町・松下仙四郎 19歳、上町・加藤儀八 20歳、立会人本町・高林善次郎 32歳、加藤清平 38歳、中町・松下仙五郎 25歳、島田勘平 24歳、上町・池田傳重 34歳</p> <p>苗字をつけて戸籍を登録した</p> <p>徴兵制、裁判所、警察署 断髪令。（髪結は床屋になった）</p>

		<p>職業の自由</p> <p>明治の新政府が動きだす</p> <p>笠井上町春日神社境内鳥居（明治4年1月）（氏子安全）と刻んである。</p> <p>中善地 百姓代 松島吉平 23歳</p>
1872	明治5	<p>學制発布。</p> <p>地租改正（田畑売買の自由化、作物制限の撤廃） 山下佐治兵衛 48歳。貢 22歳敷地と池田庄三郎敷地の売却はこの頃ではないか？ 3代山下吉十 33歳、池田為吉 37歳。山下春七 18歳、加藤儀八 44歳、加藤幸八、池田興平、袴田幸太郎、大場為吉、小杉源八、池田庄恵蔵、高井久平（明治16年火事被災者名簿より） 池田感想</p> <p>税は金納。（農村は換金作物として桑畑、繭、蚕、綿を奨励する）</p> <p>笠井市上組（太物、古着、紙類、足袋、荒物、桶屋、傘屋、鍋屋、金物、蠟燭、豆腐、蕎麦屋、菓子屋、魚屋、青物、小間物、理髪、大工、塗り物、質屋、旅籠、居酒屋、米屋、医者、下駄屋）の店が並んだ。</p> <p>中組、下組も同様に笠井街道は、いろんな店揃った</p> <p>帯屋は古着商（帯屋善助・池田善平）を兼務しながら 池田弥十は魚屋稼業（魚屋）を明治5年39歳から始めた。</p> <p>掛塚は二階造りの屋台二俣へ売る。二俣は仲町162戸全焼</p> <p>戸長加藤直次郎 23歳、副戸長榎吉太八 20歳 百姓代本町・青島忠平 29歳、中町・松下仙四郎 20歳、上町・加藤儀八 21歳、立会人本町・高林善次郎 33歳、加藤清平 33歳、中町・松下仙五郎 26歳、島田勘平 25歳、上町・池田傳重 35歳</p>

		中善地 百姓代 松島吉平 25 歳
1873	明治 6	<p>笠井郵便取扱所（榎吉陽平 43 歳）。 榎吉太八 21 歳</p> <p>戸長 加藤直次郎 21 歳、副戸長榎吉太八 21 歳 百姓代本町・青島忠平 30 歳、中町・松下仙四郎 21 歳、上町・加藤儀八 22 歳、立会人本町・高林善次郎 34 歳、加藤清平 34 歳、中町・松下仙五郎 27 歳、島田勘平 26 歳、上町・池田傳重 36 歳</p> <p>羽鳥学校（源長院）恒武学校 郷社服織神社 中善地戸長 松島吉平 25 歳</p>
1874	明治 7	<p>浜松伝馬町の火事 1300 戸焼失、宿場町の姿は消えた。石油ランプ、印刷、新聞、本</p> <p>帯屋弥十 42 歳（魚渡世）円生寺の東 嶋田勘平畑地に間口 6 間、奥行き 4 間の芝居小屋を建て興行した。</p> <p>林浜松県令宛て書類を副戸町榎吉太八へ提出</p> <p>7 月 5 日 豊雷比売命祭神を笠井春日神社へ</p> <p>二俣村鎮座六座を、二俣諏訪神社に合祀する</p> <p>7 月 5 日 1 村 1 社の明治政府の方針で春日神社武芸剣の神、地震を防ぐ神、武器刃物の神、国家鎮守の神、祝詞、文章、出世の神、炊飯の神。本殿間口 1 間 2 寸奥行 1 間五寸。雨履間口 4 間奥行 3 間。弊殿間口 2 間奥行 4 間、拝殿間口 5 間奥行 2 間 3 尺。水屋間口 7 尺 5 寸奥行 6 尺。鳥居高さ 1 丈 5 尺、明 2 間 3 尺、境内地 774 坪 官有地第壱種</p> <p>豊雷神社 由来享保 4 年 12 月再建の棟札あり雷除けの神。住吉神社由緒西浦に鎮座あり朱印高 5 石 3 斗、海の神、航海の神。天神社祭神菅原道真・学業祈願の神。金毘羅神社祭神 海上安全を守る神。津島神社由緒上組鎮座あり農業厄除けなどの他国土安泰の神医薬知識などの神。猿田彦神社道案内、交通の神。天白神社山の神、縁結びの神。八幡神社由緒倭</p>

		<p>下林に鎮座合併武の神、諸願成就の神。天白神社猿田彦の子孫。金山神社祭神二座 金山彦命・金山姫命、金属を司る神。稲荷神社五穀豊穰、商売繁昌の神。社宮司神社道案内、交通の神</p> <p>(所在笠井村字倭下林の内に禰宜屋敷というありて、旧神官 神谷家居住地なるが其の前を、若倭前と言ひ、社地を倭下林と言うによりて注進状には、此の地と定めればしばらく之に従えり。) 石神文書より抽出した。</p> <p>戸長 加藤直次郎 24 歳、副戸長榎吉太八 22 歳 百姓代本町・青島忠平 30 歳、中町・松下仙四郎 21 歳、上町・加藤儀八 22 歳、立会人本町・高林善次郎 34 歳、加藤清平 34 歳、中町・松下仙五郎 27 歳、島田勘平 26 歳、上町・池田傳重 36 歳 中善地戸長松島吉平 26 歳</p> <p>帯屋弥十 43 歳 (魚渡世) 円生寺の東嶋田勘平畑地に間口 6 間、奥行き 4 間の芝居小屋を建て興行した。</p> <p>林厚徳浜松県令宛て書類を副戸町榎吉太八へ提出 小区長 山本重三郎</p>
1875	明治 8	<p>遠江國長上郡笠井村字中組福来寺に巡查屯所を設置した。庁舎及び敷地は人民貸与なり遠江國長上郡笠井村字中組 207 番地 島田勘平家に移転し庁舎、敷地は人民の貸与なり</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長榎吉太八 23 歳 副戸長加藤清平 35 歳 池田傳重 37 歳、山下吉十 35 歳 帯屋弥十 44 歳 (魚渡世) 円生寺の東嶋田勘平畑地に間口 6 間、奥行き 4 間の芝居小屋を建て興行した。</p> <p>林厚徳浜松県令宛て書類を 戸町榎吉太八 23 歳へ提出</p> <p>下組 58 軒 (西 28 軒、東 29 軒) 中組 40 軒 (西 22 軒、東 18 軒) 上組 80 軒 (西 43 軒、東 37 軒)</p> <p>松島授三郎 39 歳は、伊平村へ引っ越す。薬舗を開く。</p>

		<p>遠江報徳社設立（社長岡田佐平治、副社長 小野江善六、伊藤七郎平、新村里助、下石田村神谷森時）</p> <p>春日神社 若林周辺の土地台帳 地主が春日神社に寄附した。</p> <p>笠井新田村と上村に分かれた</p>
1876	明治 9	<p>8 月 21 日静岡県に合併し、大迫貞清県令が就任した。</p> <p>笠井戸長 榎吉太八 24 歳 29 区浜松県公選民会議員 松島吉平 27 歳</p> <p>笠井村の消防組（倭 奈 志）結成</p>
1877	明治 10	<p>和泉屋為吉 池田酒工場製造 （山下佐治兵衛庄屋の敷地）広大な庄屋の跡地は山下吉十、池田為吉が主に買収したと推察？</p> <p>布屋（木俣千代八、源馬房次郎、加藤平四郎、山下重平等で組織）農家の機屋で綿布を買い集める商人。</p> <p>学校は（読み、書き、算盤、裁縫） 紡績、鋳業、造船、鉄道など明治の文明開化が大きく動きだした。</p> <p>笠井地域の農家は綿の栽培、綿布の手織 笠井の織物が、動き出した</p> <p>輸入綿糸の使用始まる。三代目山下吉十 29 歳 二代目吉十 69 歳</p> <p>遠江國長上郡笠井村字下組 105 番地 106 番地に分署庁舎を新築移転した。敷地は笠井村民の寄附になり坪数 163 坪。</p>

		遠江國長上郡笠井 戸長榎吉太八 25 歳 副戸長加藤清平 36 歳 池田傳重 38 歳、3 代山下吉十 36 歳 中善地戸長松島吉平 28 歳は 11 月依願辞任 中善地戸長小栗義一郎就任した
1878	明治 11	春日神社の拝殿が建造された。若倭神社の祭神は、春日神社本殿に相殿し合祀した。  10 月笠井平民納税者より、加藤直次郎 29 歳、初代加藤儀八 50 歳、3 代山下吉十 39 歳、11 代池田傳十 41 歳、小杉善十 35 歳、山下清七 37 歳、池田為吉 43 歳、山下佐治平 54 歳、榎吉太八 26 歳、4 代島田勘平 31 歳、青島忠平 35 歳、高林善次郎 31 歳  当時の笠井のリーダーにより、祭りについて協議が始まったと推定する（池田感想）  遠江國長上郡笠井 戸長榎吉太八 26 歳 中善地戸長 小栗義一郎
1879	明治 12	掛塚港は木材の集積地として繁栄。  笠井村は祭典の話が各町の有力者で協議された。寄附集めが準備された（池田感想）  住吉明神領 神主 山下貢 井上河内守領分 遠江國長上郡笠井村 高 5 石 3 斗 手目録 社中竹木諸役御免除 八代将軍吉宗～13 代家定  遠江國長上郡笠井 戸長榎吉太八 27 歳 静岡県県令大迫貞清 第 1 回県会議員 松島吉平 30 歳
1880	明治 13	笠井の祭が始まった 木造の御輿を作り 渡御を始めた 現在の西村時計店の西の角の小路付近か？ 西裏の道が交差している。北木戸がこの付近にあったと推察する？

		<p>氏子の精鋭が各町から二名選出して、お祭りの運営をすることになった。各町の納税者の中から選出されている</p> <p>下組から高林善次郎 41 歳、青島忠平 37 歳、中組から 4 代島田勘平 33 歳、榎吉太八 28 歳上組から 3 代目山下吉十 41 歳、初代加藤儀八 52 歳。最初は加藤儀八 52 歳と島田勘平 33 歳が当番。</p> <p>本物の神輿を新築するように決まり、3 月に岡崎の業者へ神輿を発注した。内金 9 円を払う。</p> <p>9 月に木造神輿で祭が始まった。(推測ながら当時の大工棟梁は掛塚にいたので、木造御輿は掛塚ではないか?)</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長榎吉太八 28 歳 県の官吏・松島吉平 32 歳 16 等出仕。</p> <p>羽鳥村 杉浦仁平は水車で、「ガラ紡」発明。加藤兄弟綿布の販売を始める。(伊久蔵、清八)      ※「ガラ紡」とは、くず綿、落綿などを使用して太い綿糸を作る紡績方法。動力に水車を利用した。帯芯、綿毛布、足袋底に用いる</p>
1881	明治 14	<p>当番総代          3 代山下吉十 42 歳、高林善次郎 42 歳。加藤儀八 53 歳、島田勘平 34 歳、榎吉太八 29 歳、青嶋忠平 38 歳</p> <p>9 月 6 日 7 日 8 日 木造御輿で 2 回目の渡御が行われた。</p> <p>その後、この木造御輿は末島村御嶽神社で使用された (約 100 年位存在していた)</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長榎吉太八 29 歳</p> <p>二代目山下重兵衛 27 歳は宮本寅蔵の紹介で東京へ徒歩で綿布の売り込みに行く。これを機会に、笠井の市の商人は信州、東北へと綿布の販路を拡大する。笠井の市は織物産業が中心となり、大きく経済が動き出す。</p>

		<p>笠井銀行設立（頭取横田茂平、副頭取加藤直次郎（廉屋）32 歳、取締役 3 代山下吉十（糸保田屋）42 歳、4 代島田勘平（島田屋）34 歳、小杉源八（紫屋）21 歳、池田為吉 46 歳</p> <p>7 月 松島吉平 32 歳は鹿玉引佐郡長に就任</p>
1882	明治 15	<p>7 月 10 日に笠井春日神社に神輿は納められた。</p> <p>岡崎市の 棟梁 加藤文二郎 230 円支払う。合計 239 円</p> <p>若倭神社禮大祭 9 月 6 日、7 日、8 日がおこなわれた。の祭典に黄金の神輿が鳳凰を立て見事な姿を現した。</p> <p>神輿の渡御 金棒、高張提灯、太鼓、御旗、神旗、雅楽（笙、箏）を奏でる伶人、神職、神輿白丁 12 名、輿脇、供櫃白丁 2 名、弓矢、鉾。</p> <p>側道を天狗面つけた猿田彦が沿道で土下座している頭上に榊でお祓いをする。後方のお供は提灯、羽織袴、袴で行列に参加する。笠井街道を歩き、上町の御仮屋にて一夜を過ごす。</p> <p>御仮屋の位置は、明治 16 年の火事の名簿から、北の端まで住宅が建っていたが、北木戸（旧大島屋付近）から北は道が、狭かったので、最初は北木戸付近に、御仮屋を建て、御輿台を設置したと思われる。明治 16 年の火事で御輿台焼失という記事がある。そして幕末に生まれ明治維新を体験した明治気質の氏子たちが創造して、本格的な渡御を目指したと推察。</p> <p>氏子総代 榎吉太八 30 歳、青島忠平 39 歳。山下吉十 43 歳、加藤儀八 54 歳、高林善次郎 43 歳、島田勘平 35 歳</p> <p>各町から 4 名の代表が選出されて、12 名の年番が選出されました</p> <p>年番 上組 松下仙五郎 36 歳、大梢太十、門奈茂吉、大橋寛吉 中組 石津福松、島田嘉平、山下安平、池田徳平 下組 内山利吉、袴田正太郎、鈴木弥十、鈴木友次郎。白丁 12 名で担いだ。当時は大変名誉ある役であった。</p>

		<p>なぜ？若倭神社大祭としたのか？  (当時の領収書は若倭神社宛てに支払られている)  なぜ、大久保藤を紋としたのか？ 春日神社は下り藤の社紋)</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長榎吉太八 30 歳  9 月松島吉平郡長 34 歳は「西遠報徳社」社長野末九八郎、副社長松島授三郎 46 歳</p> <p>県令に届け出る。明治になって 10 年以上経過したのに、農村の現状は、地主と小作人は昔と変わらず農家は貧乏な生活で明け暮れていた。報徳運動がここから実践されていくことになる。</p> <p>太物物産社を笠井に設立。  共同仕入れ、共同販売（理事長加藤直次郎 33 歳、木俣千代八 44 歳死亡の為長男 5 代木俣千代八 15 歳、加藤伊久蔵 22 歳、源馬房次郎 37 歳その他多数） 事務所川島清次郎 18 歳宅  燐寸、写真館、葡萄酒、牛乳、牛肉、が世に出てきた。</p>
1883	明治 16	<p>2 月 18 日 豊田橋開通 歩行者 1 人 1 銭、荷車 4 銭 5 厘。</p> <p>氏子惣代  山下吉十 44 歳、加藤儀八 55 歳、島田勘平 36 歳、榎吉太八 31 歳、高林善次郎 44 歳、青嶋忠平 40 歳  9 月 6 日、7 日、8 日 御輿の渡御が行われた。黄金に輝く神輿は氏子の誇りでもありました。</p> <p>年番は前年同様 12 名が選出され、神輿渡御の準備を担当しました。山車に飾りつけして神輿のあとについて、若連の練りが始まった。しかし笠井は、歳末の 12 月 10 日の市の日に笠井上組の笠井街道 109 軒が全焼。</p> <p>笠井街道の家は、3 間半の間口が隣接して家が密集しており、昔から火事に弱かった。市神様（廉屋本店前に天王様と呼ばれた樹木ある）も焼失しました。福来寺も本堂など全焼しました。御仮屋の神輿台と燈籠台が焼失した。火事の被害者</p>

		<p>名簿が発見されて、別紙にまとめてあります。</p> <p>御仮屋はどこにあったのか？</p> <p>当時の笠井村は、財政が豊かな家も多く、町内から多額の寄付が集まり、上町は復興にかかりました 笠井の市は5日毎に上中下が交代で行って行っていたので、市は継続されました。 8月天竜川出水し八幡村先堤防破壊し永島村へ侵入上善地村内堤防破壊して石原村、上村、羽鳥村、笠井新田村、浸水した。</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長榎吉太八 31歳 引佐鹿玉郡長松島吉平 35歳</p>
1884	明治 17	<p>9月6日、7日、8日 例年通り祭りは行われた。しかし前年12月の火事のため、上組は代表1名が参加となりました。</p> <p>氏子惣代 山下吉十 45歳、2代加藤儀八 33歳、島田勘平 37歳、榎吉太八 32歳、高林善次郎 45歳、青嶋忠平 41歳</p> <p>年番 上組 山下春七 30歳 1人参加。上組は家の復興中でしたので、大提灯二張を作り祭に参加しました 下組 山下才平、高林幸七、磯貝清吉 30歳、 中組 松下長四郎 32歳、池田嘉平 34歳、山下善吉 40歳、金田宗吉</p> <p>糸瓜栽培が始まる。</p> <p>笠井警察史に、「笠井村は男子誕生に初凧を上げ、親戚集い宴を開いた。</p> <p>近所には温かいが外からくる人に冷たい多くが農民なので、婦人も男子のような服装だ」</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長 榎吉太八 32歳。 引佐鹿玉郡長松島吉平 36歳</p>

1885	明治 18	<p>福来寺本堂の建設工事始まる（旧家移築かもしれない）推定？立派な玄関があった。笠井は織物産業で財政は豊であった。</p> <p>氏子惣代 山下吉十 46 歳、加藤儀八 34 歳、島田勘平 38 歳、榎吉太八 33 歳、高林善次郎 46 歳、青嶋忠平 42 歳</p> <p>春日神社の屋根替え（前回から 7 年が経過していた）9 月 6 日 7 日 8 日 神輿の渡御は行われた。山車が供についた</p> <p>掛塚に造船所、製材所ができた（掛塚へ行けば仕事がある）</p> <p>笠井村南西部に遠州織物工場ができた。 販売ルートは東北や山梨の寒い地方で良質の綿布は好評だった。</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長 榎吉太八 33 歳 引佐鹿玉郡長松島吉平 37 歳</p>
1886	明治 19	<p>9 月 6 日 雨天延期 7 日 8 日 9 日に祭典は行われた</p> <p>氏子惣代 山下吉十 47 歳、加藤儀八 35 歳、島田勘平 39 歳、榎吉太八 34 歳、高林善次郎 47 歳、青嶋忠平 43 歳</p> <p>年番下組 寺田仁恵茂 30 歳、高林卯平 33 歳、青島市平 32 歳、磯貝宗十。 上組 川嶋松之助 30 歳、神谷新吉、山下春七 32 歳、西村安太郎 31 歳。 中組 加藤徳次郎 30 歳、島田脩吉、若月秋吉、○内伝兵衛。</p> <p>（現在の位置）笠井村の北の端に、御仮屋を新築した。</p> <p>8 月 松島吉平郡長 37 歳は母の病氣重く郷里中善地へ帰る。</p> <p>気賀周辺を主に農業改革が報徳運動で広がっていく。</p>

		<p>「撫松庵」に十湖の門弟集まる。文化人が来訪する。俳諧が広まっていく。</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長 榎吉太八 34 歳。8 月 16 日引佐麓玉郡長 松島吉平 38 歳辞任。非職となった。</p>
1887	明治 20	<p>福来寺に戸長役場新築。福来寺境内は再建されて、笠井の中心の場所に復活した。</p> <p>氏子惣代 山下吉十 48 歳、加藤儀八 36 歳、島田勘平 40 歳、榎吉太八 35 歳、高林善次郎 48 歳、青嶋忠平 44 歳 遠江國長上郡笠井 戸長 榎吉太八 35 歳 引佐麓玉非職 松島吉平 39 歳</p> <p>豊田橋笠井の初市と見付天神祭は無料（十湖の発案） 銅像、石像、肖像画，顕彰碑 各地で造られ流行する</p>
1888	明治 21	<p>西遠太物業組合（長上、敷地、浜名） 初代組合長 加藤直次郎 41 歳（笠井の廉屋本家）</p> <p>氏子惣代 山下吉十 49 歳、加藤儀八 37 歳、島田勘平 41 歳、榎吉太八 36 歳、高林善次郎 49 歳、青嶋忠平 45 歳</p> <p>天竜川鉄橋完成。 浜松駅開業</p> <p>二俣屋台 3 台曳き廻し</p> <p>遠江國長上郡笠井 戸長榎吉太八 36 歳 引佐麓玉非職松島吉平 40 歳</p>
1889	明治 22	<p>東海道本線開通（新橋～神戸） 浜松駅周辺が陸輸送の中心となり、発展していく。</p>

		<p>9月11日 豊田橋流失 明治14年から7年間稼働した。</p> <p>4月遠江国長上郡笠井村・村長は榎吉太八 37歳 助役鈴木新次郎 32歳（笠井新田、笠井上） 遠江国豊田郡豊西村村長・川合貞一郎（中善地、羽鳥、倉中瀬、末島、恒武、石原、貴平、常光）</p> <p>氏子惣代 山下吉十 50歳、加藤儀八 38歳、島田勘平 42歳、榎吉太八 37歳、高林善次郎 50歳、青嶋忠平 46歳 地主総代（明治22年地図より） 池田傳十 52歳、加藤直次郎 42歳、島田勘平 42歳、三代山下吉十 39歳、山下清七 48歳、加藤清平 54歳、青嶋忠平 46歳。</p> <p>静岡県遠江國恒武村人民総代高橋佐太郎、石原村人民総代小栗嘉平次、羽鳥村人民総代松島四郎平</p> <p>春野村王子製紙は洋紙生産。 中村藤吉氷砂糖製造。 舞阪漁業組合</p>
1890	明治 23	<p>氏子惣代 山下吉十 51歳、加藤儀八 39歳、島田勘平 43歳、榎吉太八 38歳、高林善次郎 51歳、青嶋忠平 47歳</p> <p>年番 上町 藤田光太郎、松下佐平、池田友次郎 31歳、小栗兼吉。 下町 森下佐十、鈴木勘七（油屋呉服店）19歳 鈴木幸作（油幸）32歳、寺田友次郎（寺田米穀店）32歳 中町 池田梅吉（和泉屋）、 藤井和十、山下伊太郎、山下兼吉（鍋屋に五色旗代金払う）</p> <p>12月7日 福来寺の観音堂移築、永島の善光寺のお堂を購入した。（参考資料に詳細記入） 発起人 3代山下吉十 51歳、 加藤平四郎 64歳、 池田傳十 53歳 観音堂正面外 廊下の上 彫刻後藤岩五郎（奥山方広寺の龍の彫刻を彫った紺屋町の人）</p>

		<p>10月20日 遠陽市場開設 発起人中村藤吉 37歳 40店出店</p> <p>山下昇山 38歳は、本町油屋から東へ中善地の道路を発起人となりつくった。(豊西村誌)</p> <p>笠井村村長 榎吉太八 38歳 助役鈴木新次郎 33歳</p>
1891	明治 24	<p>氏子惣代 山下吉十 52歳、加藤儀八 40歳、島田勘平 44歳、榎吉太八 39歳、高林善次郎 52歳、青嶋忠平 48歳</p> <p>年番 上町 池田友次郎 32歳 (池友)、小栗兼吉、松下仙助 33歳 (八木屋薬舗)、市川秀太郎 36歳。 下町 鈴木幸作 (油幸) 33歳、寺田友次郎 33歳、鈴木米吉、松下峯吉。 中町 山下伊太郎、山下兼吉、中和義平二世、山下藤吉 (米保田屋) 26歳</p> <p>7月 長上郡笠井町 町長榎吉太八 39歳 助役鈴木新次郎 34歳、収入役門奈五郎作 29歳、</p> <p>福来寺で達磨市が始まった。(チラシ 聖観世音菩薩祭事 1月9日 10日 11日 臨時祭 7月9日 10日)</p> <p>倭魂社若連は16年の火事で消滅した諸器械を新調した</p> <p>弘法大師のお堂 (馬頭観音は西の山念仏講により建立された。寄付者の棟板を発見。別紙の通り</p> <p>倉中瀬に渡船場できる。 遠陽市場へ東から荷物運ぶ。</p>
1892	明治 25	<p>氏子惣代 山下吉十 53歳、加藤直次郎 43歳、島田勘平 45歳、榎吉太八 40歳、高林善次郎 53歳、青嶋忠平 49歳</p> <p>年番 上町 松下仙助 34歳、市川秀太郎 37歳 「御仮屋建」 下町 鈴木峯太、松下峯吉、山本虎吉、嶋田徳太郎 「鳥居建」</p>

		<p>中町 山下藤吉（米保田屋 27 歳）、休齊為吉、山田源八、竹原弥吉二世（浅羽屋）「神輿組建」</p> <p>氏子総代 加藤平四郎（直次郎）43 歳 三代目山下吉十 44 歳 各町の役割が決まった。当番社が決まった、本年は倭魂社 笠井町長鈴木新次郎 35 歳、助役・兼収入役・門奈五郎作 30 歳</p> <p>3 月 浜松中心街 242 軒全焼</p> <p>天竜川貨物取扱所開設。明善 60 歳は天竜輸送会社設立。和田村橋羽に貨物停留所し中野町が天竜川の材木を引き上げる所となった。ここから貨車で、天竜川駅へ輸送して全国へ鉄道輸送される。中野町が繁栄した。</p> <p>木俣物産（木俣千代八 25 歳）は笠井町仲町へ出店。</p> <p>足踏み織機が導入され 1 日 3 反～4 反綿布が生産されるようになった。</p> <p>銅板印刷 遠州の名家、寺、遠陽市場、豊田橋、豊西小学校など造られた</p>
1893	明治 26	<p>氏子惣代 山下吉十 54 歳、加藤直次郎 44 歳、島田勘平 46 歳、島田勘平 46 歳、島田嘉平 34 歳、 高林善次郎 54 歳、青嶋忠平 50 歳</p> <p>年番 上町 田口長三郎（田口屋）32 歳、松島新平、笠井百太郎、桑儀一郎 32 歳（棟梁） 中町 長谷川信太郎、伊藤勲平、竹原清太郎 31 歳（浅羽屋）、杉山文七。 下町 山本虎吉、嶋田徳太郎、鈴木年平、加藤清七 31 歳（丸加）</p> <p>笠井町長 鈴木新次郎 36 歳 助役兼収入役 門奈五郎作 31 歳</p>

		<p>※浜松商工会議所設立発起人 30 名（笠井町米穀商池田為吉 58 歳、洋物山下重平 42 歳）選出された</p> <p>西遠太物組合は遠江織物組合に改称。事務所は浜松へ、本部笠井町。笠井縞は遠州木綿と統一された 当番社 笠勢司</p>
1894	明治 27	<p>氏子総代 寺田源次郎、加藤清平 55 歳、山下吉十 55 歳、加藤儀八 43 歳、島田勘平 47 歳、島田嘉平 35 歳、</p> <p>笠井町長鈴木新次郎 37 歳 助役兼収入役 門奈五郎作 32 歳 加藤直次郎 45 歳は 27 年 12 月 12 日に逝去（家督相続・加藤喜一郎 27 歳）父平四郎 68 歳</p> <p>日清戦争開戦。福田のコール天、遠州織物は好景気</p> <p>司馬老泉は「望富岳真写の図」描く。この当時の笠井の風景を描いた。笠井街道の西は、寺以外は人家がない畑である 八幡山から描いた（現在のはましん笠井から笠井保育園付近が八幡山といわれている</p>
1895	明治 28	<p>氏子総代 3 代山下吉十 56 歳、2 代加藤儀八 44 歳、島田嘉平 36 歳、島田勘平 48 歳、寺田源次郎、加藤清平 56 歳</p> <p>上組 川嶋清次郎 31 歳、島田作次郎、池田幸太郎、中安浪太郎 中組 永井仙次郎、池田龍之助 30 歳、山下金平 下組 高林茂作、竹内権平、磯貝宇平、岡本藤吉 本町 笠勢司 中町 政諾社 上町 倭魂社</p> <p>若連は山車を曳く ※花鉾（大八車に丸太を立丸太に軒花や提灯で飾りつけた。車輪は 2 輪又 4 輪か不明（石野隆談）</p>

		<p>※山車とは鉾の先につけた編み残しの竹を垂らした籠を（出し）といったのが由来。</p> <p>種々の飾りものをつけた屋台を言う。各町の名前ができて、町内を引き回すローソクから電灯へ変わっていく。</p> <p>浜松町繁盛店 当時商店の品揃えが素晴らしい。これが商店だ 別紙参照 二俣、古城蓮現大屋台建築始まる。4年の歳月かける</p> <p>笠井町長鈴木新次郎 38歳 助役兼収入役・門奈五郎作 33歳 当番社 倭魂社</p>
1896	明治 29	<p>氏子惣代 2代山下重平 42歳、山下浅七 28歳、榎吉太八 44歳、島田嘉平 37歳、高林卯平 43歳、神谷久吉 27歳</p> <p>年番 上町 川嶋清次郎 32歳（川島屋）、島田作次郎、池田幸太郎（三品仲買商）、中安浪太郎 仲町 池田龍之助 31歳（帯屋）、山下金平、川合久吉、市川仁三郎 下町 磯貝宇平、岡本藤吉、石神梅吉、鈴木峯太</p> <p>若倭神社氏子総代 遠江國浜名群笠井町笠井 9月8日氏子総代 （株）笠井銀行 金八百円 借入金証書</p> <p>4代島田嘉平 37歳 榎吉八 44歳、2代山下重平 42歳、山下浅七 28歳、高林卯平 46歳 神谷久吉 27歳</p> <p>10月18日笠井委託銀行（株）明治34年6月30日 社長鈴木新次郎 39歳、 （4代山下吉十 33歳、2代山下重平 42歳、小杉源八 36歳、5代島田勘平 49歳、池田為吉 61歳、門奈五郎作 34歳）</p> <p>当番社 政諾社</p>

		<p>5月 司馬老泉 61歳は御殿山の荒廃を憂い（山下佐一郎（中井楼）、榎吉太八（美濃屋）44歳、大木久市郎（随處）24歳、今泉保太郎（三代目町長）39歳、松下仙四郎（八木屋）52歳、中和茂平、山下奎平、島田幸作の支援を受け再興に着手。</p> <p>末島御嶽神社に百人一句塚建立（十湖 47歳発起人）</p> <p>浜名郡笠井町町長 鈴木新次郎 39歳になる。助役・収入役 門奈五郎作 34歳      浜名郡豊西村村長・川合貞一郎</p>
1897	明治 30	<p>氏子惣代      山下重平 43歳、山下浅七 29歳、榎吉太八 45歳、島田嘉平 38歳、高林卯平 44歳、神谷久吉 28</p> <p>年番 上町 加藤幸八（廉屋）、小杉桂蔵、川島兼吉、野末庄吉      中町 川合久吉、市川仁三郎 33歳、山下藤吉 32歳、川出桂治郎      本町 石神梅吉、鈴木峯太、小栗格太郎（太物）29歳、寺田吉平</p> <p>化学染料が輸入された。 藍の染料は減った。新しい染技術が始まる</p> <p>笠井町長 今泉保太郎 40歳 助役・門奈五郎作 35歳 収入役・大木久市郎 25歳</p> <p>伊那谷～掛塚へ（中折、障子紙、柿、椀、煙草、漆、薬草、蒟蒻、）途中下す（穀類、醤油、酒、米、日用品）川舟が利用された。</p> <p>11月28日 浜名郡笠井町大字笠井西浦 900番地の1に笠井分署庁舎を新築移転した      当番社 笠勢司</p>

1898	明治 31	<p>氏子惣代  山下重平 44 歳、山下浅七 30 歳、榎吉太八 46 歳、島田嘉平 39 歳、高林卯平 45 歳、神谷久吉 29 歳</p> <p>年番 上町 川島峯吉、野末庄吉、名倉嘉蔵（中屋）、大場信太郎  中町 山下峯吉、川出桂治郎、山田佐七、間淵由太郎 33 歳  本町 小栗格太郎 30 歳、寺田吉平、加藤次作、高林又蔵</p> <p>浜松一笠井一二俣への県道工事始まる</p> <p>木俣物産は鍛冶町へ移転。加藤商事は板屋町へ移転（加藤伊久蔵の長男）</p> <p>笠井町長 今泉保太郎 41 歳 助役・門奈五郎作 36 歳 収入役・大木久市郎 26 歳  当番社 倭魂社</p>
1899	明治 32	<p>年番 上町 名倉嘉蔵、大場信太郎、神谷良八、須部弥三郎。  中町 山田佐七、加藤虎太郎、坂田万作、柴田金治郎  本町 高林又蔵、加藤治作、神谷文吉、鈴木与平</p> <p>氏子総代  上町 二代目山下重平 45 歳、山下浅七 31 歳、島田嘉平 40 歳、榎吉太八 47 歳、高林卯平 46 歳、神谷久吉 30 歳</p> <p>祭典日を 8 月 16 日 17 日 18 日に決定 春日神社本殿・幣殿を建造した。 春日神社雑用庫建設</p> <p>笠井町長 今泉保太郎 42 歳 助役・門奈五郎作 37 歳 収入役・大木久市郎 27 歳</p> <p>県道開通（浜松～遠陽市場から笠井街道～二俣へ開通 道路幅 3.6m</p>

		掛塚は横町と田町大火あり屋台焼失 二俣、年番制度始まる
1900	明治 33	<p>1月3日 笠井実業団体 事務所福来寺 会長木俣千代八 33歳、木俣政八、長谷川治三郎) 明治40年4月までの7年間稼働した。</p> <p>氏子惣代 山下重平 46歳、山下浅七 32歳、榎吉太八 48歳、島田嘉平 41歳、高林卯平 47歳、神谷久吉 31歳</p> <p>笠井町長 今泉保太郎 43歳 助役・門奈五郎作 38歳 収入役・大木久市郎 28歳 当番社 政諾社</p> <p>本町に永世銀行 上町に資産銀行</p>
1901	明治 34	<p>氏子総代 山下重平 47歳、山下浅七 33歳、榎吉太八 49歳、島田嘉平 42歳、高林卯平 48歳、神谷久吉 32歳</p> <p>当番社 笠勢司</p> <p>松風屋は笠井に酒屋店を開店した。田村庫之助 34歳、妻きゅう 28歳、毅一 27歳</p> <p>廉屋本店を買い、松風屋酒店が開店した。(廉屋主人加藤喜一郎は、笠井に住んでいた)</p> <p>小澤屋 (小倉茂平 39歳、長男小倉茂 16歳、父助一 62歳 (笠井委託銀行の土地家屋買収した)</p> <p>8月20日 敷地は4代山下吉十 38歳、榎吉太八 39歳、島田勘平 54歳外4名の寄附となり262坪となった。</p> <p>笠井分署 署長庁舎</p>

		笠井町長 今泉保太郎 44 歳、助役・門奈五郎作 39 歳、収入役・大木久市郎 29 歳
1902	明治 35	<p>上町に「天満宮」御仮屋建設（明治 19 年に建てた御仮屋が 16 年で建て替える）若倭神社の幕ある。</p> <p>現在、御仮屋を（天満宮）と呼んでいるので、推察すると、天満宮を移築したのかもしれない。立派な祠である。</p> <p>当番社 笠勢司</p> <p>氏子総代 山下重平 48 歳、山下浅七 34 歳、榎吉太八 50 歳、島田嘉平 43 歳、高林卯平 49 歳、神谷久吉 33 歳</p> <p>中町浅羽屋の火事あり、隣家帯屋に類焼あり。竹原清太郎 40 歳は東裏へ引っ越した。 その跡地に東への道路ができたのではないだろうか？（池田感想）</p> <p>俳句ほととぎす 正岡子規 35 歳没、十湖 53 歳 門弟多数</p> <p>笠井町長 今泉保太郎 45 歳 助役・門奈五郎作 40 歳 収入役・大木久市郎 30 歳</p>
1903	明治 36	<p>浜名郡会議長に松島十湖 54 歳就任 政治に俳諧に活躍。</p> <p>7 月 9 日 天竜川出水 中瀬村大平地先堤防約 200 間、被害 70 町歩</p> <p>氏子総代山下重平 49 歳、山下浅七 35 歳、榎吉太八 51 歳、島田嘉平 44 歳、高林卯平 50 歳、神谷久吉 34 歳</p> <p>笠井町長 今泉保太郎 46 歳、助役・門奈五郎作 41 歳、収入役・大木久市郎 31 歳 当番社 倭魂社</p>

1904	明治 37	<p>日露戦争 8月近藤登之助戦死。10月友月の衛国碑、十湖門弟の句碑建立する 源長院へ建立</p> <p>3月 池田仁三郎は町家を新築。(池友の先祖)</p> <p>7月 池田橋流出 7月15日中瀬村大平堤防約200間破壊、浸水200戸、被害300町歩。</p> <p>氏子総代 山下重平50歳、山下浅七36歳、榎吉太八52歳、島田嘉平45歳、高林卯平51歳、神谷久吉35歳 当番社 政諾社</p> <p>笠井町長 鈴木齋三郎40歳、助役・大木兵吉、収入役・鈴木清一郎19歳、書記・田辺喜一郎20歳</p>
1905	明治 38	<p>若連に入会15歳から「入酒」1斗～2斗買って仲間入りした。</p> <p>30歳で引退する時は「引酒」を買う習慣があった。当時1升2銭だった (川島光次郎談)</p> <p>氏子総代 山下重平51歳、山下浅七37歳、榎吉太八53歳、島田嘉平46歳、高林卯平52歳、神谷久吉36歳 当番社 笠勢司</p> <p>東海道天竜川駅複線化工事完成する</p> <p>豊田式 軽便式織機 電気で能率向上、品質良好、各地で導入された</p> <p>笠井町長 鈴木齋三郎41歳、助役・大木兵吉、収入役・鈴木清一郎20歳、書記・田辺喜一郎21歳</p>

1906	明治 39	<p>氏子総代 本町 高林卯平 53 歳、神谷久吉 37 歳、中町 島田嘉平 47 歳、榎吉太八 54 歳、上町 山下重平 52 歳、山下浅七 38 歳</p> <p>9 月 8 日 (株) 笠井銀行 若倭神社 八百円 借入金証書 当番社 倭魂社</p> <p>笠井町長 鈴木齋三郎 42 歳、助役・大木兵吉、収入役・鈴木清一郎 21 歳、書記田辺喜一郎 22 歳</p> <p>福来寺に随處 (大木久市郎 34 歳) 発起人で「一人百句塚」建立する</p> <p>山下青厓は静岡で揮毫して、東郷元帥、黒木大将に認知された</p>
1907	明治 40	<p>氏子総代 本町 高林卯平 54 歳、神谷久吉 38 歳、中町 島田嘉平 48 歳、榎吉太八 55 歳、上町 山下重平 53 歳、山下浅七 39 歳</p> <p>春日神社の正面鳥居を花崗岩で建造した (岡崎産の石)</p> <p>笠井町長 鈴木齋三郎 43 歳、助役・大木兵吉、収入役・鈴木清一郎 22 歳、書記・田辺喜一郎 23 歳 当番社 政諾社</p> <p>大木久市郎 35 歳が人生で最も輝いた年となった。七十二峯随處</p> <p>11 月 3 日笠井報徳社設立社長、七十二峯庵の俳号を十湖宗匠より譲渡された。大日本報徳社訓導に就任した。</p> <p>峰の沢鉦山とパルプは、舟輸送で和田橋羽 1 万坪荷物置く場へ陸揚げして、貨車で天竜川駅へ 13 年間続く。中野町は好景気が続いた。金原明善 75 歳</p>

		浜松～鹿島へ軽便鉄道開通した。人力車 197 有り、自転車、洋食、時計、舶来品、万年筆、野球、相撲、ビール、ワイン
1908	明治 41	<p>氏子総代 本町高林卯平 55 歳、神谷久吉 39 歳、中町 島田嘉平 49 歳、榎吉太八 56 歳、上町 山下重平 54 歳 山下浅七 40 歳</p> <p>笠井の経済が好調の為、祭典は大いに盛り上がる</p> <p>浜松一鹿島軽便開通</p> <p>山下青厓 50 歳は伊藤博文の知遇を受けて、広く画壇に名前を知らせる事となった 笠井町長 鈴木齋三郎 44 歳、助役・大木兵吉、収入役・鈴木清一郎 23 歳 書記・田辺喜一郎 24 歳 笠井街道は、織物産業の好景気に支えられて商店会は活気に満ちていた</p>
1909	明治 42	<p>氏子総代 本町 高林卯平 56 歳、神谷久吉 40 歳 中町 島田嘉平 50 歳、榎吉太八 57 歳 上町 山下重平 55 歳 山下浅七 41 歳</p> <p>遠江綿糸合資会社（4 代目山下吉十 46 歳経営）自転車、着物に前掛け、下駄の番頭 当番社 倭魂社</p> <p>池田龍之助 44 歳、帯屋大福帳に福田の島権から 30 本鯉仕入れあり。高値の鯉を売れる経済力が笠井町にはあった。</p> <p>笠井町長 鈴木齋三郎 45 歳 助役・大木兵吉、収入役・鈴木清一郎 24 歳、書記 田辺喜一郎 25 歳</p>
1910	明治 43	<p>氏子総代 本町 高林卯平 57 歳、神谷久吉 41 歳 中町 島田嘉平 51 歳、榎吉太八 58 歳 上町 山下重平 56 歳 山下浅七 42 歳</p>

		<p>12月13日司馬老泉 76歳没。十湖宗匠 61歳が源長院へ墓を建立した。</p> <p>笠井郵便局電話始まる。榎吉純 29歳</p> <p>舞阪湊、鯉船は石油発動機になった。舞阪海苔、舞阪鯉、スッポンや鰻の養殖、牡蠣の養殖 福来寺の水屋建設（御開帳の寄付金と同時に集金した）</p> <p>笠井町長 鈴木齋三郎 46歳 助役・大木兵吉、収入役・鈴木清一郎 25歳 書記・田辺喜一郎 26歳 当番社 政諾社</p>
1911	明治 44	<p>氏子総代 本町 高林卯平 58歳、神谷久吉 42歳 中町 島田嘉平 52歳、榎吉太八 59歳 上町 山下重平 58歳 山下浅七 43歳</p> <p>4月福来寺御開帳 天産物貿易同業者 寄付。</p> <p>笠井発起人 池田幸太郎、大島庄吉、小栗弥市 43歳、福川善九郎、山下又八、島田嘉七、内藤又太郎。</p> <p>福来寺参道の燈籠二基寄贈 大島清一、大島安太郎、大島庄吉</p> <p>帯屋龍之助 46歳は町家を新築。大福帳（肴町、見付、福田、舞阪、村櫛、掛塚、より仕入れていた。</p> <p>当番社 笠勢司</p> <p>11月17日遠江報徳社は大日本報徳社と改称した。</p> <p>鈴木道雄は縞模様の織機発明</p>

		8月5日天竜川出水、中瀬村大平堤防 208 間破壊、浸水家屋 150 戸、橋梁 12、田畑 400 町歩被害あり 笠井町長 鈴木齋三郎 47 歳 助役・大木兵吉、収入役・鈴木清一郎 26 歳、書記・田辺喜一郎 27 歳
1912	明治 45	氏子総代 本町 高林卯平 59 歳、神谷久吉 43 歳 中町 島田嘉平 53 歳、榎吉太八 60 歳 上町 山下重平 59 歳 山下浅七 44 歳  7月30日明治天皇崩御  大正元年は7月30日～12月31日 当番社 倭魂社
1912	大正 1	氏子総代 本町 高林卯平、神谷久吉 中町 島田嘉平、榎吉太八 上町 山下重平 山下浅七 当番社 倭魂社  法光院は定明寺から独立した。笠井新田村の大木元次が仲立ちしてまとめた。  農業は米、麦、さつま芋、茶、葉煙草、蕈、養蚕、桑が盛んだった  笠井町長 鈴木齋三郎 48 歳、助役・鈴木清一郎 27 歳、収入役・高井芳雄 24 歳、書記・大木新一 17 歳
1913	大正 2	氏子総代 本町 高林卯平 60 歳、神谷久吉 44 歳 中町 島田嘉平 54 歳、松下長四郎 61 歳、上町 山下重平 60 歳、山下浅七 45 歳  藤原兵吉は神徳座を開場 芝居小屋  当番社 政諾社

		<p>東海道複線化開通</p> <p>笠井町長 鈴木齋三郎 49 歳、助役・鈴木清一郎 28 歳、収入役・高井芳雄 22 歳、書記・大木新一 18 歳</p>
1914	大正 3	<p>氏子総代 本町 高林卯平 61 歳、神谷久吉 45 歳 中町 島田嘉平 55 歳、松下長四郎 62 歳 上町 山下重平 61 歳 山下浅七 46 歳</p> <p>当番社 笠勢司</p> <p>榎吉太八 62 歳逝去</p> <p>倭魂社山車に人形飾る</p> <p>青函連絡船鉄道車両運行開始 帯屋龍之助 49 歳 は北海道へ、乾数の子、新巻鮭、するめの買い付けに現金で行った。 笠井の市で売った</p> <p>広巾織物は、中国、インドへ輸出</p> <p>金原明善 82 歳と松島十湖 65 歳 倉中瀬村、田地川宅で写真撮影</p> <p>5 月警察分署を廃止して、巡査部長派出所を設立。場所は従前通り</p> <p>笠井町長 鈴木齋三郎 50 歳 助役・鈴木清一郎 29 歳、収入役・高井芳雄 26 歳 書記・大木新一 20 歳</p>
1915	大正 4	<p>氏子総代 本町 高林卯平 62 歳、神谷久吉 46 歳 中町 島田嘉平 56 歳、松下長四郎 63 歳 上町 山下重平 62 歳 山下浅七 47 歳</p>

		<p>当番社 倭魂社</p> <p>天皇即位の大嘗祭の後初めて行う新嘗祭の余興につて、倭魂社のやり方に対して西町の有志が遺憾として、西町単独で行うという件があり</p> <p>西町は「精華団」を名乗る。(相撲大会、樽御輿、山車、出囃子の音楽隊で練る) 精華団の記録始まる。</p> <p>福来寺本堂の床廻り舞台は、小倉茂30歳 (小沢屋) が若連の時に、自力で造った。</p> <p>浜松区裁判所笠井出張所と登記所が仲町に設置された。</p> <p>笠井町立女子技芸学校開校。</p> <p>藤井濱吉之碑 福来寺に建立。 濱吉 60歳還暦の祝い</p> <p>笠井町長 鈴木齋三郎 51歳、助役・鈴木清一郎 30歳、収入役・高井芳雄 27歳、書記・大木新一 21歳</p>
1916	大正 5	<p>氏子総代 本町 高林卯平 63歳、小栗格太郎 48歳 中町 小杉源八 56歳、松下長四郎 64歳 (八木屋) 上町 山下重平 63歳 山下浅七 48歳 当番社 政諾社</p> <p>10月2日 (株) 笠井銀行 913円借入金証書</p> <p>2月29日社有林伐採金 94円94銭 (北浜村東美園 渥美源三郎へ売却し村社基本財産編入した。</p> <p>精華団は山車間に合わず上大瀬より借り単独行動する。</p>

		<p>笠井町長 鈴木齋三郎 52 歳 助役・鈴木清一郎 31 歳、収入役・高井芳雄 28 歳 書記・大木新一 22 歳</p> <p>笠井郵便局 榎吉純 35 歳局長。簡易保険取り扱う。</p> <p>山下青厓 58 歳 東京美術倶楽部にて個展開く。十湖一門駆け付ける。</p> <p>電気が普及した。映画館、広巾織物は欧州戦争で遠州に注文が集中した。</p>
1 917	大正 6	<p>氏子総代 本町 高林卯平 64 歳、小栗格太郎 49 歳 中町 小杉源八 57 歳、松下長四郎 65 歳 上町 山下重平 64 歳 山下浅七 49 歳</p> <p>精華団承認。氏子総代の裁断で倭魂社の分家として承認された。山車新調した。</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 41 歳。 助役・鈴木清一郎 32 歳、収入役・高井芳雄 29 歳、書記大木新一 23 歳</p> <p>7 月 1 日 十湖金婚式 石塔建立 芸児手踊、角力、浪花節、大念仏、花火 十湖 68 歳・結婚 50 周年</p> <p>富田久三郎 65 歳は坂東捕虜収容所の建設資金だす。第九交響楽演奏で有名 映画にもなった</p> <p>温室農業が盛んになる。</p>
1918	大正 7	<p>氏子総代 本町 金田太平 48 歳、鈴木勘七 47 歳、中町 池田龍之助 53 歳、小杉源八 58 歳、上町 川嶋清次郎 54 歳、山下浅七 50 歳</p> <p>社格 村社春日神社 祭典日 8 月 16 日 17 日 18 日 氏子総交代</p>

		<p>各地で米騒動起きる 消防組は警戒に当たる 米市価 1升45銭</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 42歳。 学務委員門奈五郎作 56歳、鈴木新次郎 61歳、小杉源八 58歳、小栗格太郎 50歳、笠井町役場は福来寺から仲町へ移転した。</p> <p>町長門奈仁三郎、42歳、助役・鈴木清一郎 33歳、収入役・高井芳雄 30歳、書記・大木新一 24歳</p> <p>福来寺の句碑と忠魂碑は御殿山へ移転した。 福来寺の周辺を整備した</p> <p>遠州織物成金続出 スペイン風邪流行する</p> <p>8月14～15日 全国で米騒動起こる、笠井町も勃発形成起こったが事なきを得た。</p>
1919	大正8	<p>氏子総代 本町 金田太平 49歳 鈴木勘七 48歳 中町 池田龍之助 54歳 小杉源八 59歳 上町 川嶋清次郎 55歳、山下浅七 51歳</p> <p>精華団は 大太鼓1個 小太鼓4個 境提灯3張 購入した。</p> <p>遠州笠井中町 若松屋 砂糖、生麩、素麺、粉類、菓子店</p> <p>十湖宗匠 70歳は鳴門の富田久三郎 68歳を訪問する。ドイツ兵と写真撮影。天然痘が浜松で発生。</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 43歳、助役・鈴木清一郎 34歳、収入役・高井芳雄 31歳、書記・大木新一 25歳</p>

1920	大正 9	<p>氏子総代 本町 金田太平 50 歳、鈴木勘七 49 歳、中町 池田龍之助 55 歳、小杉源八 60 歳、上町 川嶋清次郎 56 歳、山下浅七 52 歳</p> <p>6 月 資産銀行と西遠銀行が合併して遠州銀行となった頭取は竹山謙三 69 歳</p> <p>3 月 株価大暴落 遠州織物不況で休業相次ぐ</p> <p>第 1 回国勢調査実施（以後 5 年毎に実施）</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 44 歳。助役・鈴木清一郎 35 歳、収入役・高井芳雄 32 歳、書記・大木新一 26 歳</p> <p>巡査派出所を廃止して、警部補派出所を設立した、場所は以前の位置。</p> <p>笠井観音に大念仏団があったが、「盆騒動記」あり解散した。（道具は昭和 17 年戦争で供出した）</p> <p>3 月 21 日十湖 71 歳 「集霊亭」改築源長院に豊川稻荷を勧請した。三遠農学社故功労者を祀る、句碑建立</p> <p>4 月三遠農学社大正支社役員改選で社長伊藤豊太郎 58 歳 場所は源長院</p> <p>6 月資産銀行解散 6 月 20 日遠州銀行笠井支店開業</p> <p>当番社 笠勢司</p>
1921	大正 10	<p>氏子総代 本町 金田太 51 歳平、鈴木勘七 50 歳、中町 池田龍之助 56 歳、小杉源八 61 歳、上町 川嶋清次郎 57 歳、山下浅七 53 歳</p> <p>（村社若倭春日神社）</p>

		<p>3月31日笠井町役場に火の見櫓 15m建てる ガソリン消防車</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 45歳、助役石神良一郎 41歳、収入役大木新一 27歳、書記・大木忠雄、学務委員 山下青崖 63歳</p>
1922	大正 11	<p>氏子総代 本町 金田太平 52歳、鈴木勘七 51歳、中町 池田龍之助 57歳、小杉源八 62歳 上町 川嶋清次郎 58歳、山下浅七 54歳</p> <p>社掌 石神春江</p> <p>福来寺に「実業同志会結成」小巾 50人</p> <p>当番社 政諾社</p> <p>八木橋周助 26歳は浜松で宮本甚七 59歳の支援で「浜松タクシー自動車商会」開業</p> <p>豊西村自治改良区 村会議員、区長決まる</p> <p>福来寺参道の入り口付近に（唐金燈籠）があった。</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 46歳 助役・石神良一郎 42歳、収入役・大木新一 28歳 書記・大木忠雄</p>
1923	大正 12	<p>氏子総代 本町 金田太平 53歳、鈴木勘七 52歳、中町 池田龍之助 58歳、小杉源八 63歳、上町 川嶋清次郎 59歳、三上義武 50歳（精華団より1名でる）</p> <p>神輿の後に屋台が登場した。倭魂社二俣から中古の漆塗り屋台を購入した 法被に白短パン</p>

		<p>この頃から、仲町のマルス青果と高林家具の前の道路の真ん中に秋葉燈籠（製作者三陽岡崎十王町の石工今井佐兵衛）火の見櫓の前に祭壇と注連縄を張り市神様が行われた。投げ持ちも行われた（土のいろ）より</p> <p>2代目政諾社屋台完成 掛塚の棟梁 坂田歌吉 彫刻伊藤松次郎</p> <p>※9月1日 関東大震災 12月25日 福来寺修復の為寄付金集まる</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 47歳 助役 石井彦太郎 34歳 収入役 大木新一 29歳 書記・大木忠雄</p> <p>※金原明善 92歳、中村藤吉 70歳 逝去</p> <p>永久社設立 輸出織物広巾 60cm 同一の印で出荷する</p> <p>※ 八木橋周助 27歳は、浜松～笠井 バス運行 8人乗り 料金は 50銭 道路の途中からも乗車可能 上町資産銀行の跡地を買収。中谷自動車商会（合同） 笠井～中瀬小松宮口 運行した。</p> <p>※ 豊西村図書館できた。 豊西村の自転車 474台</p> <p>掛川港は閉港。 舞阪漁船が弁天橋から東京芝浦まで物資を運んだ</p> <p>帯屋龍之助の弟山下太吉 53歳は横浜カナダ汽船に勤務、大震災に遭遇した（長女死亡）</p>
1924	大正 13	<p>氏子総代 本町 金田太平 54歳、鈴木勘七 53歳、中町 池田龍之助 59歳、小杉源八 64歳、上町 川嶋清次郎 60歳、三上義武 51歳</p> <p>精華団は屋台建設 福来寺境内に屋台小屋建てる</p>

		<p>1月29日 笠井女子技芸学校より出火、裁縫教室の火鉢の不始末が原因</p> <p>3月6日 遠陽市場で火事。北19店全焼、3店被害あり 終焉した</p> <p>土のいろ 発行 昭和15年までに83冊 郷土の歴史が詳細に書かれている</p> <p>豊田佐吉57歳 完全自動織機完成する。 笠井織物工場の下請けが増える。</p> <p>島田洋品店、島田喜一郎37歳 (帽子、軍手、手袋、下着、マフラー) 小売り (島田圭司さん祖父)</p> <p>寺田大屋で、達磨を福来寺初市に売り始めた (寺田弘吉・たか夫妻)</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎48歳 助役・石井彦太郎35歳、収入役・大木新一30歳、書記・大木忠雄</p>
1925	大正14	<p>氏子総代</p> <p>本町 金田太平55歳、鈴木勘七54歳、中町 池田龍之助60歳、小杉源八65歳、上町 川嶋清次郎61歳、三上義武52歳</p> <p>春日神社祭典に「統監」設置</p> <p>笠井町立笠井高等職業女学校開校</p> <p>4月8日 私立笠井幼稚園開園 園長は木俣なみ</p> <p>豊西村誌 (松島十湖編)</p> <p>遠州織物は震災の後大阪デパートで好評を得て、全国展開をはかる。木俣千代八58歳は貴布弥に日清紡績を誘致した。</p>

		<p>普通選挙男子 25 歳以上</p> <p>9 月 4 日 朝暴風雨襲来し風速 20m、農作は殆ど倒壊、家屋屋根墾の被害多し</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 49 歳、助役・石井彦太郎 36 歳、収入役・大木新一 31 歳、書記・大木忠雄 学務委員 中安清雄、榎吉純、小栗庄太郎、山下吉十、鈴木勘七 54 歳、門奈五郎作 63 歳</p>
1926	大正 15	<p>氏子総代 本町 小栗格太郎 58 歳、2 代高林宇平 54 歳、池田龍之助 61 歳、鈴木清一郎 41 歳、川嶋清次郎 62 歳、三上義武 53 歳 宮司石神春江</p> <p>笠勢司屋台建造（棟梁本町高井喜代司） 8 月 19 日 神勢団は笠勢司より独立した。</p> <p>※ 4 月 25 日十湖銅像が鴨江観音境内に建立（富田久三郎 74 歳寄付金 2000 円 全体の 25%） ※ 7 月 10 日 松島十湖 77 歳逝去 7 月 25 日 村葬儀 可睡斎導師 50 ヶ寺参加 ※ 森町 乙女の舞始まる</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 50 歳 助役・石井彦太郎 37 歳、収入役・大木新一 32 歳、書記・大木忠雄 政諾社屋台建造。屋台鳳凰 伊藤松治郎、鬼板 山下久一郎。 役員古木五郎三郎、小杉源一、池田覚、磯貝丑太郎、野田秀治、島田喜一郎（島田屋）山田源七（箱屋）。</p> <p>仲町総代 池田龍之助、鈴木清一郎。寄付者 44 人（墨字が読めない名前多し） 池田寅吉、山下松太郎、堀内春吉（丸保）、寺田喜代市、兵十、山田正太郎、松下藤吉（菊泉）、織田信治、大野儀十（染色）、川合雄、市川良八、袴田喜作（日吉軒）、</p>

		<p>若連社長 内村岳史。統監内村岳史 池端謙（人形） 太田武史（甘党） 鈴木寅吉（八百屋） 池田彦十（帯屋）</p> <p>12月25日 大正天皇崩御 昭和元年は、昭和12月25日～12月31日</p>
昭和1		<p>偉大な報徳指導者はその使命を終えて、多くの遺産を残して去っていった。天竜川は、止まることなく未来へ流れてゆく。明治で活躍された指導者は、幕末の動乱を体験して、明治の世を、日本の為にと、実践された事が歴史の足跡が証明しています。その時代に、それぞれが、知恵をだして、郷土の土となっていました。</p> <p>政諾社 屋台は人形（猿飛佐助、織田信長、忍術使い、今川義元、徳川武将）島田圭司さんの記憶</p> <p>笠井信用金庫発足 組合長五代目山下吉十 28歳、</p> <p>浜松信用金庫発足</p> <p>メロン温室栽培 笠井高等女学校 52人卒業</p>
1927	昭和2	<p>氏子総代 本町 小栗格太郎 59歳、高林宇平 55歳、中町 池田龍之助 62歳、鈴木清一郎 42歳、上町 川嶋清次郎 63歳、三上義武 54歳</p> <p>神勢団独立。 橋爪より山車を借りて人形を飾り参加した。</p> <p>8月御飯屋（若倭神社の幕）袴田清吉・袴田春吉 寄贈 当番社 倭魂社</p>

		<p>笠井高等女学校 46 人卒業</p> <p>財閥化、地主制度で貧富の差広がる。繭暴落</p> <p>日本楽器社長川上嘉市。河合楽器河合小市社長独立。高柳健次郎テレビジョン実験成功。</p> <p>伊藤豊太郎（蒲邨）大般若経 500 万文字写経を始める</p> <p>笠井町長 門奈仁三郎 51 歳 12 月退任、助役・石井彦太郎 38 歳、収入役・大木新一 33 歳、書記・大木忠雄</p>
1928	昭和 3	<p>氏子総代 小栗格太郎 60 歳、高林宇平 56 歳 中町 池田龍之助 63 歳、鈴木清一郎 43 歳 上町 三上義武 55 歳、川嶋清次郎 64 歳</p> <p>西町を住吉町と命名した。当番社 政諾社</p> <p>本年は雨で樽御輿で行った。上町年番田村毅一氏 34 歳より、精華団より年番を 1 人出してほしいと要請あり福代与助がなった。</p> <p>神勢団 屋台建造（鈴木和三郎 28 歳がリーダー） 17 日 18 日雨の為、樽御輿で行った。</p> <p>11 月福来寺で酉の市が行われた。12 月 28 日～31 日大市 野菜 1 貫目布袋売り、大根 1 貫目縄で縛る販売、鯉売る店 8 軒あり藁で俵を作り入れた。</p> <p>輸出用糸瓜は好調。笠井織姫で機屋は好調。</p> <p>笠井高等女学校 38 人卒業。</p>

		<p>笠井町長 金田太平 58 歳、助役・石井彦太郎 39 歳、収入役・大木新一 34 歳 書記・大木忠雄          浜松市長 中村陸平 54 歳</p>
1929	昭和 4	<p>9 月総代          本町 小栗格太郎 61 歳、高林宇平 57 歳歳 池田龍之助 64 歳、鈴木清一郎 44 歳、三上義武 56 歳、小倉茂 44 歳、社掌          石神春江</p> <p>春日神社社務所改築 建築費 2426 円 氏子寄附金</p> <p>精華団は子供を揃いの浴衣で踊ったので町の羨望の的になった</p> <p>お囃子（巾 1 間 9 尺、長さ 2 間、2 寸角の柱、左右の弓張のように提灯を並べ提灯の下に造花を飾り、小太鼓 3 個          をぶらさげて、歩きながら叩く、三味線 2 人横笛 2 人鐘（ちんちろりん）1 人、曲目は（ごろう）（かごまわし）</p> <p>神勢団 山車に人形飾る</p> <p>見付地方専売公社の建物を払い下げ、笠井幼稚園の横に移築した。</p> <p>世界大恐慌（ニューヨーク株大暴落）</p> <p>笠井高等女学校卒業生 46 人。笠井町長金田太平 59 歳。          助役・石井彦太郎 40 歳、収入役 大木新一 35 歳 書記・大木忠雄          浜松市長 中村陸平 55 歳</p>
1930	昭和 5	<p>氏子総代          本町 小栗格太郎 62 歳、高林宇平 58 歳 池田龍之助 65 歳、鈴木清一郎 45 歳 上町 三上義武 57 歳、小倉茂 45 歳</p>

		<p>社掌石神春江</p> <p>村社春日神社 昇格に御礼。</p> <p>表石垣建設 寄付者 加藤實次郎 74 歳、加藤伊久蔵 70 歳、加藤清七 68 歳 寄附金 504 円 花崗岩 13 間  雷神社鳥居建設 寄付者 池田龍之助 65 歳、 加藤弥太郎 65 歳  御殿山稻荷社殿完成 老泉の夢が叶った。  (1896 年荒廃した御殿山を再興しようと呼びかけてから 34 年の歳月がかかった)</p> <p>遠州大念仏団 70 団体参加して団結</p> <p>糸瓜 500 万本 (海軍の甲板掃除用年 20 万本、皿敷、火鉢敷、スリッパ、湯殿敷、土瓶敷、肩流し) 最盛期  笠井高等女学校卒業生 50 人</p> <p>笠井町長 金田太平 60 歳 助役・石井彦太郎 41 歳、収入役・大木新一 36 歳、書記・大木忠雄  浜松市長中村陸平 56 歳</p> <p>5 月 28 日から 1 週間 県下産業教育視察で、陛下御巡幸</p>
1931	昭和 6	<p>氏子総代  本町 小栗格太郎 63 歳、高林宇平 59 歳 中町 池田龍之助 66 歳、鈴木清一郎 46 歳 上町 三上義武 58 歳、小倉茂 46 歳</p> <p>有限会社笠井信用組合 12 月 3 日 50 円 借用証書 (事業資金)</p> <p>当番社 政諾社</p>

		<p>連合会は各社全員参加となる。精華団三福の芸者さんの指導で「住吉踊り」など習う。町中の人気を集めた。</p> <p>神勢団の若連は子供に菓子を配る。屋台小屋塗装、山車の車巾狭く修繕する</p> <p>笠井町祭典連合会が発足。</p> <p>笠井町長金田太平 61 歳 助役・小倉一丸 45 歳、収入役・大木新一 37 歳、書記・大木忠雄</p> <p>2 月 26 日笠井商工会創立。(商業 293 軒、工業 213 軒、農業 169 軒、糸瓜産業、織布業 52 軒、染色 13 軒、糊付け 18 軒、管巻整経 8 軒、織機製造 1 軒)</p> <p>満州事変 以後 15 年続く日中戦争で日本は軍国主義の方向へと進んでいく</p> <p>糸瓜 400 万本 前年に続き好調</p> <p>8 月 24 日 内務省鑑識官柴田常恵氏が「聖観世音菩薩」鑑定した。徳川末期の物と推察</p> <p>常光地区に浜松上水道水源ポンプ場完成し通水開始する</p> <p>福来寺 笠井町実業同志会 小巾 50 人 解散</p>
1932	昭和 7	<p>氏子総代 本町 小栗格太郎 64 歳、高林宇平 60 歳 池田龍之助 67 歳、鈴木清一郎 47 歳、三上義武 59 歳、小倉茂 47 歳</p> <p>お囃子 芸者さんの三味線に合わせて、浴衣に花笠をかぶり夕方から夜 9 時頃まで踊った。(倭魂社の話)</p>

		<p>笠井は屋台が廻って来るとご祝儀を出す習慣があった。若衆は朝まで屋台行動をしていた。</p> <p>神勢團は子供たちに菓子を配るようになった</p> <p>当番社 笠勢司</p> <p>遠州広巾組合員は支那を視察。輸出貿易を痛感する（金田太平 62 歳（金田屋）木俣政八（木俣物産）加藤藤九郎（丸加）</p> <p>福来寺お堂の中に「御真言九星占い」八十翁 中島生納龍水 生書昭和 7 年春日の掲額を寄贈する</p> <p>5・15 事件 国際連盟脱退 日本は軍国化へ</p> <p>2 月 11 日浜名郡笠井尋常高等小学校 先生 郷土の俤 編集；大久保京重、小枝喬之、武藤銀次郎、竹田長太郎、河野謙作、石神寛、鈴木和雄、山本右門、名倉一翁、松島達太郎、藤村諒一、仲山志げ、大橋茂、高林とみ、高橋みさを、小杉實、墨岡さいと、笠井町会議員 小栗庄太郎、川嶋光次郎 42 歳、田口雄太郎 37 歳、古木貞太郎、鈴木清一郎 47 歳、鈴木政平 47 歳、島田嘉壹、鈴木齋三郎 68 歳、鈴木嘉六、大木清作、小倉茂 59 歳、大木久市郎 60 歳、町田重郎、高柳藤十。</p> <p>浜名郡笠井町町長・金田太八 62 歳、助役・小倉一丸 46 歳、収入役・大木新一 38 歳、書記・大木忠雄</p>
1933	昭和 8	<p>氏子総代本町 小栗格太郎 65 歳、竹山仁太郎。中町 鈴木清一郎 48 歳、古木貞太郎、上町 三上義武 60 歳、小倉茂 48 歳</p> <p>寶庫建設 894 円 10 銭 5 厘 12 月 29 日皇太子奉祝は法被着用、靴禁止、提灯行列</p> <p>精華団の住吉町は 三上から北へ道路を広げた</p> <p>笠勢司は酔った外人に暴行を受け小野田屋の前で謝罪させた</p>

		<p>笠井町町長・金田太八 63 歳、助役・小倉一丸 47 歳、収入役・大木新一 39 歳、書記・大木忠雄</p> <p>笠井郵便局は洋館で建築 榎吉純局長 52 歳</p> <p>天竜川に国道橋が開通する</p> <p>8 月 19 日いけ花代千鳥園。保険代理社 池田秀太郎。鳥居材料代岡本久吉。酒 3 升金田魚店。味噌糰類製造販売 寺田清三郎。和洋御料理 中井楼、山下佐一郎。醤油味噌浜納豆清酢、和洋酒卸小売り、大井商店 大木義一。栄堂菓子代、館栄一。建具指物鈴木為吉、竹屋 竹内常八。124 番地 加藤弥太郎、(砂利)。高林弘一 (神輿休憩所)。銅鉄金物平波板、セメント、左官諸式 釜屋商店石神良一郎、春日町松本鎌一、電話 124、竹材 石炭薪炭。呉服太物 小澤屋呉服店。川島光次郎 (川島屋)。美濃屋商店 (種油、蠟燭、燈心)、池川自動車商会。池川勉。馬淵印刷所馬淵桑吉。松下薬局松下幸助。常田屋本店 今井半十。山形屋・料理旅館 藤井幸次郎・</p>
1934	昭和 9	<p>社格昇進願 静岡県遠江國浜名郡笠井町字若林 鎮座 村社式内 春日神社</p> <p>当社は別紙明細書に記載せるが如く延喜式内の神社にして往古より</p> <p>武門武将ことに今川義元公、浜松藩主累代崇敬最も厚く及び広く地方民の崇敬の靈城、幽邃を極め莊嚴なる古社に候へば今回氏子崇敬者協議の上、醸出し当神社へ寄附維持資金に加え候に付き願意御聴郷社へ昇格被成下度依って神社財産登録台帳、氏子崇敬者証明書棟札古文書 元笠井郷</p> <p>検地帳写相添え此の段願候也。右春日神社 社掌石神春江</p> <p>氏子総代 小栗格太郎 66 歳、竹山仁太郎、鈴木清一郎 49 歳、古木貞太郎、三上義武 61 歳、小倉茂 49 歳。</p> <p>崇敬者総代昇格委員 芦原清八、2 代目池田竜之助 46 歳。</p>

		<p>住吉神社鳥居建設 寄付者 袴田白十（萬屋呉服店）</p> <p>神勢団法被揃える。</p> <p>9月28日はラジオ放送局にて12時15分から10分間 政諾社役員は祭囃子を披露した</p> <p>大鳥居6m「蛇籠」笠勢司が建立（以後22回昭和32年まで継続した）</p> <p>美濃屋酒店（榎吉竹治25歳）開店</p> <p>泉伍に代目五三郎と弟総一郎は2月佐藤町へさらに、田町へ移転した。笠井の店は空き家となった。</p> <p>丹奈トンネル開通</p> <p>笠井町長 小倉一丸48歳、助役・石神良一郎54歳、収入役・鈴木逸平34歳、書記・大木清吉</p>
1935	昭和10	<p>氏子総代</p> <p>本町 小栗格太郎66歳、竹山仁太郎。中町 鈴木清一郎49歳、古木貞太郎、上町 三上義武62歳、小倉茂50歳</p> <p>精華団 1月内藤誠之医師死亡。三福レビュー団中止。神勢団は太鼓を新調した。</p> <p>中谷弥一4トントラックで運送屋、自転車バタバター号、自転車屋経営して多くの番頭がいた。</p> <p>帯屋の池は自然に水が引いた。大きな池だった、鯉、鰻などが泳いでいた。</p> <p>10月定明寺本堂改築</p>

		<p>源長院の長屋門を移築した。磐田市上神増（鈴木家の長屋門）</p> <p>笠井町長 小倉一丸 49 歳、助役・石神良一郎 55 歳、収入役・鈴木逸平 35 歳、書記・大木清吉          浜松市長 横光吉規</p>
1936	昭和 11	<p>6 月 28 日村社 春日神社氏子改選</p> <p>氏子総代          本町 小栗格太郎 68 歳、竹山仁太郎。中町 鈴木清一郎 51 歳、古木貞太郎、上町 三上義武 63 歳、小倉茂 51 歳</p> <p>精華団記録終了 神輿の渡御は 30 分早める</p> <p>当番社 倭魂社</p> <p>八幡山中央広場にて草競馬行う</p> <p>広巾（60 cm）先染サロン輸出用好調</p> <p>笠井中野球部西部地区で最強だった。松島芳郎監督 29 歳、鈴木和雄先生、豊田茂夫先生、八木橋周助 40 歳後援会長          御殿山の赤い鳥居発起人（高柳藤十、神谷真弓 68 歳、川島光次郎 46 歳、田村毅一 42 歳）</p> <p>笠井小学校の正門できた。</p> <p>笠井町長 小倉一丸 50 歳、助役・石神良一郎 56 歳、収入役・鈴木逸平 36 歳、書記・大木清吉、浜松市長 横光吉規</p> <p>二・二六 事件 二俣国鉄線開通</p>

1937	昭和 12	<p>氏子総代 本町 芦原清八、高橋多賀蔵。中町 鈴木清一郎 5 2 歳、古木貞太郎、上町 三上義武 6 4 歳、小倉茂 5 2 歳 社掌石神春江</p> <p>倭魂社屋台新築</p> <p>政諾社 統監小栗春夫、社長榎吉竹治、副池田幸一、鈴木桂、山下貞雄、島田喜一、瀧口猛、袴田清十、伊藤良平、秋山誠治、山下正司</p> <p>笠勢司 統監高林賢次郎、社長寺田浅吉、副山田吾一、袴田廣治、竹内常次、藤井長市、鈴木三郎、加藤恒七、鈴木一男、池田敏雄</p> <p>神勢団 統監高井喜代治、社長加藤一郎、副高井虎雄、藤原時、中村吉平、神谷茂三郎、鈴木傳次郎、森島繁雄、鈴木民雄、中津川勇</p> <p>精華団 統監田邊力蔵、社長高柳繁治、副太田繁数、伊藤金平、池田幸雄、鈴木光治、大石幸一、川島安太郎、清水勇次郎、村田良一</p> <p>倭魂社 統監初瀬榮一郎、社長前川春雄、松島武男、今井恒三、高柳芳雄、森島一男、犬塚一男、鳥羽山義雄、夏目重雄、古木貞雄</p> <p>遠州織物生産額は最高。7 月日中全面戦争で綿花、綿糸統制となった</p> <p>※ 福来寺世話人（5 代山下吉十 39 歳、山下光夫 23 歳、山下龍郎 25 歳、石井彦太郎 48 歳、松下幸夫 23 歳） 笠井（福寿繁栄すご六）「泉一、中廣、鍋屋呉服、米五、野中無線、高柳電機、萬屋呉服、鈴木髪結、渥美薬局、</p>

		<p>鈴木防水布、丸保履物、文泉堂、丸濱青果、産婆守屋、キャバレー龍宮、乗合自動車、池田スタジオ、西村時計、仕立平松、料理豊田屋、島田洋物店、美濃屋、神谷医院、丸八タンス、本町烏安、油屋呉服、菓子よしわや、文海堂、池友呉服」</p> <p>笠井中野球部西部地区で最強だった。松島芳郎監督 30 歳、鈴木和雄、豊田茂夫、八木橋周助 41 歳後援会長</p> <p>笠井町長 小倉一丸 51 歳、助役・石神良一郎 57 歳、収入役・鈴木逸平 37 歳、書記・大木清吉          浜松市長 横光吉規</p> <p>日中戦争</p> <p>松菱百貨店開店</p>
1938	昭和 13	<p>氏子総代          本町 芦原清八、高橋多賀蔵。中町鈴木清一郎 53 歳、古木貞太郎、上町 三上義武 65 歳、小倉茂 53 歳 社掌石神春江</p> <p>6 月 20 日 玉垣建設</p> <p>倭魂社 外交正 鳥羽山義雄、副山下正男、犬塚一男、夏目重雄 26 歳          政諾社 外交正 島田喜一、副影山國一 25 歳、高林政雄、菅沼通幸 政諾社若連社長 池田幸一 統監 守屋三郎          神勢団 外交正 高井虎雄、副森島繁雄、藤原時          笠勢司 外交正 竹内基雄、鈴木実、鈴木一男、池田敏雄          精華団 外交正 川島安太郎、渥美慶三</p> <p>非常時に付き屋台行動は禁止。神輿の渡御のみ          行う 17 日雨、吾 8 日渡行、19 日還行</p>

		<p>国家総動員法公布</p> <p>笠井町長 小倉一丸 52 歳、助役・石神良一郎 58 歳、収入役・鈴木逸平 36 歳、書記・大木清吉          浜松市長 横光吉規</p> <p>笠井中野球部西部地区で最強だった。松島芳郎 31 歳監督、鈴木和雄、豊田茂夫、八木橋周助 42 歳後援会長</p>
1939	昭和 14	<p>氏子総代          本町 芦原清八、高橋多賀蔵。中町 鈴木清一郎 54 歳、古木貞太郎、上町 三上義武 66 歳、小倉茂 54 歳</p> <p>倭魂社 統監 高柳芳男、 社長鳥羽山義雄、山下正男、犬塚一男、夏目重雄、島田徳治、山田精治、古木貞雄、          五味鉄彦、西村章</p> <p>精華団 統監 池田幸祐、 社長川島安太郎、鈴木光次、村田良一、渥美敬三、鈴木恒雄、渡辺嘉一郎、          高林初太郎、鈴木清一、</p> <p>神勢団 統監 高井喜代治、社長高井虎雄、森嶋繁雄、藤原時、鈴木良雄、中津川勇、鈴木傳次郎、森傳十郎、          神谷茂三郎、中村吉平</p> <p>笠勢司 統監 鈴木三郎 社長竹内常次、加藤恒七、鈴木實、鈴木一男、池田敏雄、高林佐七、刑部政夫、          袴田猪太郎、名倉益見、神谷忠雄</p> <p>政諾社 統監 池田幸一 29 歳 社長島田喜一、影山國一 26 歳、伊藤良平、山下正司、鈴木弥之助、          西岡正平、吉田政太郎、菅沼通吉</p> <p>16 日午後 10 時終了。17 日 18 日節約して神輿行動をすること夜 12 時終了の事。</p> <p>笠井町長 小倉一丸 53 歳、助役・石神良一郎 59 歳、収入役・鈴木逸平 39 歳、書記・大木清吉          浜松市長 横光吉規</p>

		<p>笠井中野球部西部地区で最強だった。松島芳郎 32 歳監督、鈴木和雄、豊田茂夫、八木橋周助 43 歳後援会長</p> <p>木炭自動車統制 公布 国民徴用令公布</p>
1940	昭和 15	<p>氏子総代</p> <p>倭魂社 統監 山下正男、社長夏目重雄、副山田精治、古木貞雄、五味鉄彦、小野菊雄、杉田亀若、河村景一、鳥羽山行夫、金田久、桑原保夫</p> <p>精華団 統監 池田幸祐、社長 鈴木光次、副鈴木常吉、渡辺嘉一郎、高林初太郎、鈴木清一渥美桂三、大城元弥、高橋京一、岡原弥市</p> <p>神勢団 統監 高井虎雄 社長 森嶋繁雄、副 藤原時、中津川勇、鈴木傳次郎、森傳十郎、神谷茂三郎、鈴木武治、大石政治</p> <p>笠勢司 統監 鈴木一男、社長 池田敏男、副 高林佐七、刑部政夫、池川勇、渥美京一、神谷忠夫、名倉益見、河合清、袴田猪太郎</p> <p>政諾社 統監 島田喜一 社長 影山國一、副 袴田清十、高林政雄、菅沼通吉、鈴木弥之助、伊藤良平、山下正司、吉田政太郎</p> <p>政諾社のお囃子が行われていた（鈴木憲談） 神勢団は 16 日 17 日 18 日の余興 山車お囃子は氏子総代の許可が必要 当番社 政諾社</p> <p>山崎新聞店（相良の人）笠井で朝日新聞店開く。カメラを持っていた。</p> <p>笠井町長 小倉一丸 54 歳、助役・石神良一郎 60 歳、収入役・鈴木逸平 40 歳、書記・大木清吉 浜松市長 横光吉規</p>

		<p>笠井中野球部西部地区で最強だった。松島芳郎 33 歳監督、鈴木和雄、豊田茂夫、八木橋周助 44 歳後援会長 福来寺に地方卸売市場笠井青果市場開設（発起人坂田作蔵） 日独伊 三国同盟</p>
1941	昭和 16	<p>氏子総代</p> <p>政諾社社長 影山國一 28 歳 統監</p> <p>倭魂社の吹き流し、政諾社幟、例年通り行う事、各社団連合奉納相撲大会を開催する。神酒は一日 2 升と定め会所にて飲むこと。現状情勢下にて屋台行動中止 青年は神輿の渡御に参加した。</p> <p>4 月 (株) 笠井青果市場 社長石井彦太郎 52 歳 八木橋周助 45 歳、金田栄一 42 歳、高井芳雄 53 歳、池田竜之助 53 歳、内藤格太郎</p> <p>笠井小正門から西町への東西の道路ができた</p> <p>太平洋戦争開戦する。国民学校令、白米、綿糸、生活品配給、ラジオ放送始まる</p> <p>笠井町長 中安清雄、助役・石井彦太郎 52 歳、収入役・石津金太郎、書記・鈴木逸平 42 歳 浜松市長 横光吉規</p>
1942	昭和 17	<p>氏子総代</p> <p>倭魂社 統監河村景一 社長鳥羽山行夫、副松下幸夫、金田久、吉田喜太郎、館重夫、長尾久一、大塚泰二、小野菊雄 精華団 統監鈴木常治、社長大城安太郎、副 渡辺嘉一郎、高橋京一 渥美桂三、鈴木清一、福代喜代次、小栗新次、大城文弥、中安実</p>

神勢団 統監鈴木傳次郎、社長森傳十郎、副 神谷茂三郎、鈴木武治、大石政治、山下待雄、島田敏治、  
金田卯一、加藤為三郎、鈴木泰介

笠勢司 統監高林佐七、社長袴田猪太郎、副 刑部政夫、神谷忠夫、名倉益見、河合清、鈴木治郎、  
松本久太郎、高井賢吉

政諾社 統監 影山國一 29 歳社長 袴田清十 28 歳、副伊藤良平、秋山誠治、白瀬庄平、小藪正三、  
久米新平、松島博、大木績、鈴木恒雄

倭魂社吹き流し、政諾社幟、境提灯は例年通り設置する。大東亜戦争時局の重大時に付き屋台行動は中止

日章旗と海軍旗神輿の腰脇に立てた 屋台行動は置き屋台とする。

三高木工製作所（三室晴義出資者当時織機 300 台所有、現場監督高林弘一）海軍の弾薬庫を製造。美濃屋の裏に倉庫があ  
った。

当番社 倭魂社

大東亜記念館（笠井小講堂）山下吉十 45 歳、田中万平、高林健一郎、竹山栄司、大木新一 48 歳、高井章、

校長佐藤哲が発起人となり寄付金を建設 棟梁は高林清太郎（西町）

福来寺の唐金燈籠 源長院の鐘楼 供出

聖隷三方原病院開院

笠井町長 中安清雄、助役・石井彦太郎 53 歳、収入役・石津金太郎 書記 鈴木逸平 43 歳

浜松市長 藤岡兵一

1943	昭和 18	<p>氏子総代</p> <p>倭魂社統監 鳥羽山行夫、社長松下幸夫、金田久、小野力雄、長尾久一、村松誠一郎  精華団統監 高橋京一、社長渡辺嘉一郎、副 渥美桂三、大城元弥、中安実、照井与太郎、福代善代次、鈴木五郎  神勢団統監 森傳十郎、社長鈴木武治、副大石政治、島田敏治、加藤為三郎、鈴木浅雄、奥島繁雄  笠勢司統監 袴田猪太郎、社長神谷忠夫、副 名倉益見、寺田隆二、河合清、長谷川保、鈴木治郎、  高井賢吉、吉田昇八、三浦政一  政諾社統監 小藪正三、社長伊藤良平、副秋山誠治、白瀬庄平、吉田政太郎、鈴木常夫、川合繁、戸塚定頼、高林駒吉</p> <p>境提灯、吹き流し、幟例年通り。屋台は廃止する。余興は随意とする。会所は例年通り。防空の報ある時は中止する事</p> <p>永世銀行が静岡銀行笠井支店となった。石造りの建物</p> <p>笠井小に小結東富士が来た。寺田隆夫さん相撲大会で優勝</p> <p>笠井町長 中安清雄、 助役・石井彦太郎 54 歳、収入役・木村春雄・石津金太郎 書記・竹山文太郎  浜松市長 藤岡兵一</p>
1944	昭和 19	<p>氏子総代</p> <p>政諾社 若連社長 秋山誠治  樽御輿でおこなった。</p> <p>12 月 9 日 東南海地震起きる。福来寺観音堂の西側に被害あり。</p> <p>学童疎開 源長院、正光寺に疎開して、豊西小学校へ通う  軽便鉄道鉄材供出 軽便廃止。中学生報国隊出動。中島飛行場、富士紡績、河合楽器、鈴木織機、浅野重工業、大同製鋼、</p>

		<p>勤労奉仕へ</p> <p>12月23日 浜松空襲市内壊滅</p> <p>笠井町長 石井彦太郎 55歳、助役・小倉一丸 58歳、収入役・木村春雄・4 石津金太郎 書記竹山文太郎  浜松市長 藤岡兵一</p>
1945	昭和 20	<p>氏子総代</p> <p>小倉三夫さんはお囃子を曳いて数人で町を歩いたと証言あり</p> <p>3月10日 東京大空襲 10万人死亡。8月6日広島9日長崎原子爆弾 8月14日（無条件降伏・ポツダム宣言受託）  8月15日終戦 祭典中止 町長等の役職は交代の指令あり 石井彦太郎は交代</p> <p>浜名郡笠井町長大木清作 助役・大木新一 51歳、 収入役・金田久 書記・ 田地川佐太郎</p> <p>福来寺福田誠元 77歳住職隠居。黒澤諦完が後継者、兄黒澤俊聡夫婦が同居した。</p> <p>児童公園は空地、観音堂は太い丸太で支えてあった</p> <p>静岡銀行から西の道路は延焼を防ぐ為に新道が整備された</p> <p>当番社 倭魂社</p>
1946	昭和 21	<p>氏子総代</p> <p>政諾社 統監山本正郎、社長中村甲治、副佐藤吉雄、中谷豊吉、高林駒吉、石牧義治、秋山恭一、島田圭司、袴田良雄、</p>

池田益雄、山下修一、加藤誠一、堀内弘明、鈴木健一

笠勢司 統監岡本武雄、社長高井賢吾、副磯貝光司、寺田邦治、山下清一、神谷慶二、吉田利夫、大井武、鈴木幸博、高井安雄、芦原八郎、平松茂雄、顧問神谷忠夫、名倉益見、石川鹿三

神勢団 統監野末要三、社長奥島繁雄、副鈴木浅雄、高井安正、島田五郎、原榮一、杉本武夫、小田謙三、寺田新一、川口博、松原富剛、竹内佐平、山口弥平

精華団 統監渥美桂三 社長吉田辰雄、副小木実、福代喜代次、葛谷照彦、袴田清市、松本昂、小窪重明、坂田良忠、大村要三、大村増夫、大軒竜雄、大澤鶴吉

倭魂社 統監高林貞雄、社長森下昌一、副 石神長夫、山下重男、鈴木正、笠原源一、宇田彦太郎、池田讓、大塚泰三  
中安啓児、中安二三男、小野静雄、高林眞澄

慰安祭として行った。東京踊り、瑞穂踊りで町内を一周した。神勢団・祭典費は区費の 20 倍とした。

財閥解体。地主制度崩壊。小作人が増えた。

笠井農業協同組合ができた。豊西農業協同組合出来た。 笠井報徳社解散手続きを始めた。

綿 1 万梱包浜松繊維業界へ供与された ガチャマン景気  
本田自転車ポンポン。古橋広之進世界記録、りんごの歌。  
松田屋しそ巻工場。創業開始

帯屋石灰岩より石綿工場建てて煙突の原料作る。

日本国憲法公布 祭 22 回総選挙 婦人に参政権、通貨旧円使用禁止。

東海産業（株）加藤英治郎社長 木材業と綿織物を経営（加藤伊久蔵の孫）

		笠井町長 大木清作 助役・大木新一 52 歳 収入役・金田久 書記・田地川佐太郎 浜松市長 坂田啓造
--	--	---

1947	昭和 22	<p>氏子総代</p> <p>政諾社 若連社長 影山國一 35 歳 当番社 笠勢司</p> <p>屋台行動のみ実施 本町蛇籠で鳥居を飾る、中町マルス前と郵便局前に大幟、上町は五色の吹き流しを建てた 上町は御飯屋の夜警備を担当した、</p> <p>浜名郡笠井町町長大木清作 助役・大木新一 53 歳、収入役・金田久 書記・ 浜松市長 坂田啓造</p> <p>学校六・三制 パン 12 円 牛乳 15 円 床屋子供 10 円 酒 1 升 425 円 子供 1 円 5 円 10 円で遊んだ</p> <p>福来寺大師堂再建寄進者（2010 年お堂階段工事の時に発見）</p> <p>1 月 10 日達磨市 笠井の大屋のだるま 毎年大きくして買っていく</p>
------	-------	--

1948	昭和 23	<p>氏子総代 神輿の渡御</p> <p>政諾社 若連社長 中谷豊吉 屋台の（青厓の絵画）飾る 政諾社 年番 山下正司。 当番社 倭魂社</p> <p>11 月大下弘 25 歳笠井小で野球教室開く（八木橋周助氏に宿泊して愛用バットを置いていった）竹山栄司後援会長 鈴木恣監督、コーチ五味吉彦、川島隆、藤森巖、1 市 2 郡大会準優勝投手山下周衛、捕手大木春秋、1 塁西原照明、 2 塁国本利男、遊撃八木橋幸男、左翼島圭一、中堅平野幸雄、右翼神谷礼治、小松忠平、加藤政男 石神欣哉</p>
------	-------	---

		<p>商店会上町にここ会 中町中央会 下町だるま会とそれぞれが競いあって活動をしていた</p> <p>笠井町町長 田口雄太郎 53歳、助役・鈴木弘・鈴木逸平49歳 収入役・金田久 書記・石津金太郎</p> <p>浜松市長岩崎豊。</p>
1949	昭和 24	<p>氏子総代</p> <p>神輿の渡御 1家で1人神輿の供に出た。御飯屋から福来寺まで並んだ</p> <p>年番 政諾社 若連社長 高林駒吉（中谷豊吉） 当番社 政諾社 祭典に 露天商が 伊藤下駄屋～郵便局付近に出た。</p> <p>福来寺に大吹き流しを立てた。倭魂社は山形屋の二階から投げ持ちを行った</p> <p>松島芳郎42歳監督、コーチ松本土郎、顧問鈴木恣、高力莞爾 1市2郡で優勝。 投手八木橋幸男、捕手金田実、1塁西原照明、2塁鈴木幸市、遊撃池田欣哉、左翼小松和央、中堅山下庄市、右翼高林宏、高柳弘、寺田千秋、田邊勘七、町田信治、小田常吉、小池春夫、岩崎恭丈、中安眞一、馬淵良衛</p> <p>川上哲時さんは小学校4年の時に中町へ引っ越してきた。屋台の笛が上手だった。</p> <p>（ガチャマン景気）織物産業が、笠井町をリードしていった。特紡 ガラ紡、コール天、小巾</p> <p>1月2日～10日 笠井商工会がサーカスを呼んだ。（池田譲さん談）</p>

		<p>大相撲が福来寺で2回興行された。櫓太鼓は福来寺入り口付近にあった</p> <p>笠井町町長 田口雄太郎 54歳 助役・鈴木弘・鈴木逸平 50歳 収入役・金田久 書記 石津金太郎 浜松市長岩崎豊。</p>
1950	昭和 25	<p>氏子総代 芦原清八</p> <p>年番 当番社 笠勢司</p> <p>政諾社 若連社長 笠原七郎 (岩本義男、三室正雄、池田益男、中村 統監 中町 高林駒吉、本町 鈴木幸博、上町 小田一、住吉、吉田友八、春日 池田幸太郎 ※ 松島芳郎監督、鈴木幸市</p> <p>達磨市にサーカスや見世物が来た。1月10日達磨市大屋の達磨買う 露天商多数</p> <p>笠井町町長 田口雄太郎 55歳 助役・鈴木弘・鈴木逸平 51歳 収入役・金田久 書記・石津金太郎 浜松市長岩崎豊。 第4回生 監督松島芳郎 43歳 顧問鈴木恣、高力莞爾 1市2郡大会優勝。西部大会優勝 投手高柳弘、捕手金田実、1 塁寺田千秋、2塁鈴木幸市、3塁田辺勘七、遊撃池田欣哉、左翼小松和央、中堅山下庄市、右翼町田信治、小田常吉、小 池春夫、岩崎恭丈、中安眞一、馬淵良衛</p>
1951	昭和 26	<p>当番社 倭魂社</p> <p>氏子総代</p> <p>政諾社 若連社長 小杉茂 統監 高林駒吉 (島田圭司、山田喜久治)</p> <p>政諾社 年番 中谷豊吉</p> <p>1月10日達磨市 サーカス来る 露天商多数 大屋の達磨買う</p>

		<p>笠井町と豊西村が合併。合併記念に5月7日8日9日屋台行動をする。 笠井商店会連盟で花火を200発天竜川で上げる</p> <p>笠井西小学校      笠井東小学校</p> <p>浜名高校へ松島芳郎監督</p> <p>笠井町町長 田口雄太郎 56歳 助役・鈴木弘・鈴木逸平 52歳 収入役・金田久 書記・石津金太郎 浜松市長岩崎豊。</p>
1952	昭和 27	<p>当番社 政諾社 氏子総代</p> <p>政諾社 統監小杉茂、社長神谷惣一、副大場広夫、袴田賢三、梅田勝、石野芳夫、進藤丈二、石牧満壽江、松島重男 石野隆、久島實、中谷卓、池田米治、田辺保一、河合保二、藤森保明、礼次郎、顧問島田圭司、山田菊治</p> <p>笠勢司 統監川合角次、社長加藤徹吉、副竹内達、石神康弘、高橋朝男、大井清、秋山昇、磯貝照茂、高木進、 山下久、石神陸平、鈴木邦夫、中安保、大西実</p> <p>神勢団 統監岡本光太郎、社長竹山雅三雄、副森彦十郎、鈴木庄吉、鈴木留三郎、伊藤繁雄、山下源一郎、大石春雄 坂田敏雄、石津静雄、鈴木喜代治、森安治、竹内歆次、鈴木勉、鈴木淳、斎藤忠司、足立慶一、柴谷朝光、鈴木与 士夫</p> <p>精華団 統監大村要三、社長大軒龍雄、副松本、袴田精一、福代勉、太箸清、坂田良忠、大村増夫、永田徳次、小沢逸郎、 山下良道、松島眞次、田中忠二、川合清、國本秀治、宮本全次、中村照夫、清水行雄、鈴木一雄、鈴木孝博</p> <p>倭魂社 統監松谷正十三、社長安川喜代次、副小倉光男、松島教一郎、高林眞澄、中谷次夫、鈴木春安、小池忠光 渡辺寅市、秋山金吾、夏目章、杉山五郎、寺崎一郎、椋本正美、大石睦治、山内静也、山下東平 犬塚義一、日下部恒夫、葛西忠彦 顧問池田精作、宇田寛、石津伊太郎</p> <p>16日は午後12時まで。17、18日神勢団はやまや角、笠勢司は萬屋前、政諾社、精華団、倭魂社は丸保四辻前に並ぶ 舗装区間は午後21時まで。舗装区間の家庭に散水をお願いします。</p>

		<p>政諾社 年番 高林駒吉</p> <p>7月22日 笠井街道はアスファルト舗装になった。</p> <p>達磨市 地球オートバイ曲芸 田村女史 この後の公演で死亡。イベントはこれが最後となった。大屋の達磨買う</p> <p>笠井町町長 田口雄太郎 57歳 助役・鈴木弘・鈴木逸平 53歳 収入役・金田久 書記・石津金太郎 浜松市長岩崎豊。</p>
1953	昭和 28	<p>当番社 政諾社 氏子総代</p> <p>政諾社 年番長 高林駒吉 32歳、鈴木敬哉、内藤菊雄、石牧宏悦、上町年番 池田譲 32歳、袴田、小田一、 住吉 大軒龍雄、本町 鈴木、春日 松原、小田 政諾社 社長 袴田賢三</p> <p>天竜川大水で濁流の為、大川で清水払いを行う</p> <p>松島芳郎 46歳監督 浜名高校夏県大会 2位、山梨静岡決定戦 2位で甲子園夢果たせず。笠井中卒業生 4名出場した</p> <p>達磨市 大屋の達磨買う</p> <p>御殿山の句碑と忠霊碑を法永寺に移設した</p> <p>大川の水車は精米を終わる</p>

		<p>浜名郡笠井町町長 田口雄太郎 58 歳 助役・鈴木弘・鈴木逸平 54 歳 収入役・金田久 書記・石津金太郎 浜松市長岩崎豊 63 歳。</p> <p>笠井中講堂 落成 校歌できた</p>
1954	昭和 29	<p>当番社 笠勢司 氏子総代</p> <p>年番</p> <p>政諾社 社長 初村佐一 28 歳 統監 袴田賢三（石野芳夫、加茂庄市、久島實 28 歳、松島重雄、山下正吉） 神輿の白丁小栗熊十、町田宗男の父</p> <p>3 月 31 日 浜松市に合併した 浜松市長岩崎豊 64 歳</p> <p>笠井町町長 田口雄太郎 59 歳 助役・鈴木弘・鈴木逸平 55 歳 収入役・金田久 書記・石津金太郎 47 歳</p> <p>笠井小の礼拝門を福来寺に移設した</p> <p>12 月浜名自動車（株）田村毅一 54 歳社長 西の山へ工場建設</p> <p>福来寺に 22 分団消防小屋 トヨタ消防車 運転手日下部、松島眞次 西村</p> <p>笠井聖観世音奉賛会 笠井と豊西役員 233 人で組織 会長中安清雄、石井彦太郎 65 歳、金田栄一 55 歳、鈴木謙、大木新一 60 歳、藤田嘉通比古、 源長院 25 世慧文大和 43 歳尚晋山式典</p>

		11月 八木橋周助遠鉄の専務取締役 53歳 館山寺観光開発を邁進する
1955	昭和 30	<p>当番社 倭魂社 氏子総代 政諾社若連社長 石牧宏悦 神勢団と精華団は屋台を新築しているので、屋台行動はできなかった。 神輿の渡御は夜9時出発 屋台は夜中の2時頃まで曳いていた 達磨市 笠井聖観世音奉賛会 2年目にて解散する 4月 浜松市議会議員第1期 田口雄太郎 60歳 内藤賢二 62歳当選 ヤマハ発動機 赤トンボ 二輪 鈴木自動車 スズライト軽四輪</p> <p style="text-align: right;">浜松市長 13代岩崎豊 65歳</p>
1956	昭和 31	<p>当番社 政諾社 6月28日登記。池田龍之助（彦十）68歳竹山栄司退任。 氏子総代就任 小倉茂、田地川佐太郎、 年番 政諾社 若連社長 伊藤孝一郎 29歳（石野隆、池田米治） お囃子 政諾社（犬塚儀明 30歳、松本芳郎 29歳、池川英雄 23歳若連2名、加音屋2名）最後の年 達磨市笠井聖観世音奉賛会 （山下吉十 58歳、山下重平 57歳、山下保治 56歳、名倉徳太郎、川島光次郎 66歳）隣家主体となった 11月17日竜西商店会連盟発足（会長田口雄太郎 61歳（笠井）曾布川芳民（芳川）村松映（都田）芥田高四郎（中野町） 伊東秀吉（入野）小出貞雄（都田）神谷良平（長上）金原寛三郎（和田）竹内源之丞（積志） 神武景気 高度経済成長推進</p>

		佐久間ダム 360 億円完成 浜松市議会議員 田口雄太郎 61 歳	オートレース開場 内藤賢二 63 歳	海の星高等学校開校 浜松市長 13 代岩崎豊 66
1957	昭和 32	当番社 笠勢司 氏子総代  年番  政諾社若連社長 犬塚儀明、29 歳（田辺保一、小笠原義明）  神勢団 屋台 お囃子 手踊り  静岡国体  糸瓜戦後最高 笠井土地改良区設立  笠井新田 法光院全焼 黒澤祥龍和尚 37 歳  4 月 浜松市議会議員 田口雄太郎 62 歳 内藤賢二 64 歳 浜松市長 13 代岩崎豊 67 歳		
1958	昭和 33	当番社 倭魂社 氏子総代  年番  政諾社 若連社長 松本芳郎 29 歳		

		<p>精華団 福来寺の現在地に屋台小屋を建てた</p> <p>蛇籠の大鳥居を廃止した。</p> <p>笠勢司お囃子中止（若連と子供が集まらなくなった）</p> <p>蛭子森発見 秋葉ダム完成</p> <p>浜松市議会議員 田口雄太郎 63 歳 内藤賢二 65 歳 浜松市長 13 代岩崎豊 68 歳</p>
1959	昭和 34	<p>氏子総代 島田良太郎、</p> <p>政諾社 年番長 初村佐一、副年番石野芳夫、高林嘉平、石牧宏悦、犬塚儀明、内藤菊雄、鈴木敬哉、田村慎一 若連社長 名倉善治（28 歳） 乗馬（年番犬塚儀明 31 歳、石牧宏悦 33 歳）、</p> <p>倭魂社 統監門奈剛一、社長中村哲夫 副山本隆一、竹内三郎、小栗一雄、鳥羽山鉄雄、鈴木豊二、市川幸雄、 鈴木健二、寺田隆夫、小倉亮、秋山光雄、渡辺宏、名倉進、山下実、池谷勝、渥美祐一、内田実、 堀内晃、青島守晴、武田俊雄、大村辰雄</p> <p>精華団 統監桑原勝 社長永田徳司、副坂田庄司、高橋一夫、中村永治、中野和夫、伊藤高男、守屋隆、寺田政太郎、 山下博、竹原明、砂子力、山下周衛 高林慶吉、馬淵匡司、大村金光、斎藤岩男、渡辺玉男、國本利夫、鳥羽山 隆、 中村茂雄、中川巳一、国井俊彦、田辺勘七、村木謙次</p> <p>笠勢司 統監波多野嘉信 社長小粥英滋、副大西実、金田吉夫、金田隆宗、石川幸夫、竹内正治、内山敬、 川合啓資、鈴木重男、山下庄市、高林宏、池田真澄、袴田浩司、鎌田徹文、山田政伸、河合静夫、高林正喜、 鈴木真司、小栗春雄、菅沼孝友、波多野彰彦</p> <p>神勢団 統監旭加一、社長坂田正憲、副松本由夫、岡本峯吉、鈴木昭五郎、竹原三郎、鈴木七郎、鈴木幸雄、足立孝、</p>

		<p>山崎雄策、伊藤卓、藤田陽一、平野幸雄、清水道俊、中村清、竹内明男、中野誠一、富田明、寺田久、袴田義晴、鈴木静男、森下謙二、鈴木基司、石神清、石井康一、山田清二</p> <p>政諾社 統監松本芳郎、社長久島善治、副池田幸雄、伊藤幸雄、小栗正茂、池川英雄、鈴木繁弘、松村達己、金田旭、長谷弘、田辺一夫、金田富士雄、高柳長良、菅沼利夫、杉村哲司、中津川志郎、馬塚義治、鈴木眞爾、榎吉正幸、寺田久夫、袴田修、磯部隆治、鈴木憲、石牧輝夫、伊藤欽授、鈴木修二、小栗寛、鈴木新二、山下正通</p> <p>17日倭魂社観音前、精華団丸保角、政諾社中安医院前、笠勢司静銀前、神勢団やまや角 7時20分集合</p> <p>御仮屋到着8時50分まで。統監の接待はジュース。 外交は綱先へ2名以上付く事。</p> <p>浜松市議会議員 田口雄太郎 64歳、小栗繁 58歳、鈴木甚市 65歳落選。 2期内藤賢二 66歳当選 浜松市長 1期平山博三 53歳</p> <p>主婦の店第1号浜松に出店</p> <p>4月10日 皇太子ご成婚。テレビが売れた全国で放映 池田充義 19歳旭化成富士工場へ入社</p>
1960	昭和 35	<p>当番社 笠勢司 氏子総代</p> <p>年番</p> <p>政諾社 若連社長 伊藤幸雄 (名倉善治、神谷良一、小栗正成)</p> <p>屋台倭魂社(福来寺前) 精華団(丸保角) 政諾社(中安医院前) 笠勢司(静銀前) 神勢団(島田工場前) 19時30分隊列</p>

		<p>を組んで御仮屋へ出発する</p> <p>SBS テレビ放送開始</p> <p>八木橋周助社長64歳 大草山～湖上ロープウェイ開通</p> <p>2期内藤賢二67歳 1期 浜松市市長平山博三54歳</p>
1961	昭和36	<p>氏子総代</p> <p>政諾社 若連 社長岩本英一 統監 池川英雄29歳 (門奈道夫、榎吉英司)</p> <p>2期 内藤賢二68歳 1期 浜松市市長平山博三55歳</p>
1962	昭和37	<p>当番社 政諾社</p> <p>氏子総代</p> <p>政諾社年番 池田米治、木村徳衛、川合正二郎、松下吉雄、松本芳郎、石野隆</p> <p>政諾社若連社長 鈴木繁弘28歳 (中津川志郎 馬塚義治、田辺一夫、池川英雄、高井輝浩、榎吉正幸、池田朝男)</p> <p>神輿の先頭の馬に最後に乗ったのは 門奈剛一さんと桑原勝さん(桑原談)</p> <p>達磨市奉賛会(山下吉十64歳、山下重平63歳、山下保治62歳、山下龍郎50歳、松下幸夫48歳)</p> <p>東南海地震で修復されていないお堂をどうするか? 協議する</p> <p>2期 内藤賢二69歳 1期 浜松市市長平山博三55歳</p>
1963	昭和38	<p>当番社 笠勢司</p> <p>氏子総代</p> <p>政諾社若連社長 馬塚義治29歳</p> <p>神勢団は屋台を解体して修理に出す。</p>

		<p>お囃子は全町廃止となった 神輿の先頭の馬を廃止した</p> <p>黒澤俊聡夫婦は領家町へ引っ越した。18年間庫裡<small>くり</small>で生活した。金達磨無し、西コンクリート無し証言あり</p> <p>第5回市議会 第3期内藤賢治 70歳、第1期日下部孝造 51歳当選 2期平山博三 56歳 無投票当選</p>
1964	昭和 39	<p>当番社 倭魂社 氏子総代</p> <p>政諾社 若連社長 鈴木健（池田欣哉、高柳長良）</p> <p>屋台行動は、16日は夜10時30分まで、17日18日は夜12時まで警察から通達あり</p> <p>東京オリンピック 新幹線開通</p> <p>福来寺西を児童公園にしたい旨第二自治会より要請あり。許可する。</p> <p>金達磨¥2000 はがき発見 ガリ版刷り お堂の修復を始める</p> <p>3期 内藤賢二 71歳 1期 日下部孝造 52歳 2期 平山博三 57歳</p>
1965	昭和 40	<p>当番社 政諾社 氏子総代</p> <p>年番 小栗孝一、榎吉英司、池川英雄、名倉善治、神谷良一、高井照浩</p> <p>政諾社 若連社長 松田誠一郎（伊藤金授、池田善久、菅沼利雄、池田政夫）</p>

		<p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>西コンクリート工事は松島仁平（土木業、左官）が行った。屋根の草取も行ってた。廊下を鉄板で通路とした。</p> <p>3 期 内藤賢二 72 歳                      1 期 日下部孝造 53 歳    2 期 平山博三市長 58 歳</p>
--	--	--

1966	昭和 41	<p>当番社 笠勢司 氏子総代</p> <p>政諾社 若連社長 鈴木憲            (鈴木修二、小栗寛、鈴木新二)</p> <p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>豊西会館 完成</p> <p>3 期内藤賢二 73 歳                      1 期日下部孝造 53 歳    2 期平山博三市長 59 歳</p>
------	-------	---

1967	昭和 42	<p>当番社 倭魂社 氏子総代</p> <p>政諾社 若連社長 山下正通 29 歳 (榎吉清光、山下成吾、波多野孝一、祭典日を土、日に変更してほしいと若連から要望あり)</p> <p>八木橋周助 71 歳 は黄綬褒章受章 笠井中 O B 20 人で祝賀会開く</p>
------	-------	---

		<p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>笠井中 火事</p> <p>第 6 回市議会選挙 4 期目 内藤賢治 74 歳 2 期目、日下部孝造 55 歳 当選 3 期目平山博三市長 60 歳</p> <p>架設促進同盟会会長田村毅一 73 歳 葵会館で会費 ¥500。地域の有力者と議員を招待して始まった。現在の「浜名会」</p>
1968	昭和 43	<p>当番社 政諾社 氏子総代</p> <p>政諾社 年番長 中津川志郎 34 歳、菅沼利雄、高柳長良、池田朝男、長谷国弘、田辺一夫 政諾社若 連社長 島田英夫 29 歳 川上哲時 29 歳 大石健一郎 29 歳、</p> <p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>7 月 17 日笠井中 火事二度目</p> <p>東名開通 浜松インターを誘致運動は架設促進同盟会会長田村毅一 74 歳</p> <p>青和会はどうして誕生したか？</p> <p>池田充義 28 歳が衛生工場の噂を耳にして、笠井町の人が全く静かなので不思議に思い、健ちゃんに話すと、町の青年を本町の消防小屋に集めてくれた。代表が久島さんに面会して事情を聞いた。この件は条件闘争まで話合いが進んでいるということで終わる</p>

		<p>昔の青年団のような、何かをやろうという事で、会を作ろうということになった。「青和会」各部会に分かれ、会員の家庭に順番で集まって話あった。時間を守る。会合のやり方を学ぶ。記録をつける。異業種話は面白く、2時間位はすぐに経過してしまった。</p> <p>青和会歌は、白井作詞、石橋作曲、青和会旗、すべて会員の知恵と手造りで運営された。</p> <p>市議会選挙 4 期目 内藤賢治 75 歳 2 期目、日下部孝造 56 歳 当選 3 期目平山博三市長 61 歳</p>
1969	昭和 44	<p>氏子総代</p> <p>政諾社 若連社長 堀内朝男 29 歳 統監 大石健一郎 30 歳、 鈴木良一、辻村功 29 歳</p> <p>交通規制夜 9 時すぎても、屋台を置いて、大井酒店で飲んでいて警察にこっぴどく怒られた（島田談）</p> <p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>東部衛生工場完成 緑地公園とセンターができた</p> <p>4 月 青和会創立 会長竹内正治 36 歳、副会長 鈴木健 35 歳、鈴木眞司 34 歳、松田誠一郎 34 歳</p> <p>市議会選挙 4 期目 内藤賢治 76 歳 2 期目、日下部孝造 57 歳 当選 3 期目平山博三市長 62 歳</p> <p>浜松青年会議所 JC 松田さん、田村さん、笠原さんは入会して活躍された。青和会とは兼務した。</p>
1970	昭和 45	<p>当番社 倭魂社</p> <p>氏子総代</p>

		<p>政諾社 若連社長 西岡忠緒 29 歳、(榎吉平之助 29 歳、袴田清麿 29 歳、高林繁樹 29 歳、小杉一夫 28 歳)</p> <p>屋台の保険をかける (子供が転落した)</p> <p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>浜北大橋開通 大阪万博 6 月池友火事</p> <p>市議会選挙 4 期目 内藤賢治 77 歳 2 期目 日下部孝造 58 歳 当選 3 期目 平山博三市長 63 歳</p>
1971	昭和 46	<p>当番社 政諾社 氏子総代</p> <p>政諾社 年番当番長 松田誠一郎 35 歳、鈴木憲 34 歳、小栗寛 34 歳、鈴木修二 34 歳、鈴木新二 34 歳、伊藤欽授 政諾社 若連社長 笠原雅宏 29 歳 統監 小栗秀一 29 歳</p> <p>天狗を年番がやるようになった 花火はスターマイン (家が増えてきたから) 交通規制派は、18 時~21 時まで</p> <p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>県立東高校が笠井新田に開校した</p> <p>第 7 回市議会選挙 第 5 期 内藤賢治 78 歳当選 第 4 期 浜松市長 平山博三 64</p>
1972	昭和 47	<p>当番社 笠勢司 氏子総代</p>

		<p>政諾社 若連社長 町田宗夫 29 歳 統監金田大八 29 歳 (佐藤順一、鳥井正明、佐藤昭夫、金田大八、鈴木辰美</p> <p>「グリーンスタンプ」松風屋田村滋治 29 歳君の誘いで入会、角屋、竹屋、坂田肉屋、森八百屋、金物保田屋、西岡硝子 笠原洋服店、スズキ薬品、おびや魚屋。松風屋、マルエスクリーニング 11 店</p> <p>びっくり市 松本陶器店のさつき通りで有志の店が出店した。おびやは、鰹を販売した</p> <p>沖縄日本復帰</p> <p>達磨市奉賛会 (6 代山下吉十 44 歳、山下光夫 58 歳、山下龍郎 60 歳、松下幸夫 58 歳、石井彦太郎 83 歳)</p> <p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>第 5 期 内藤賢治 79 歳 第 4 期 浜松市長 平山博三 65 歳</p>
1973	昭和 48	<p>当番社 倭魂社 氏子総代</p> <p>政諾社 若連社長 鈴木辰美 30 歳 統監町田宗夫 (池田周弘 29 歳、金田俊郎 29 歳)</p> <p>倭魂社 年番長</p> <p>道路許可は東側のみとされた。緊急車両が通過できる為</p> <p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p>

		<p>グリーンスタンプ第1回青空市 葵会館 全て完売した 会館内も使用した</p> <p>源長院書院庫裏改築建設委員会 二世も参加（池田充義 33 歳） 広報担当、漫画のかわら版発行</p> <p>第5期 内藤賢治 80 歳                      第4期 浜松市長 平山博三 66 歳</p>
1974	昭和 49	<p>当番社 政諾社 氏子総代</p> <p>政諾社 年番長 山下成吾 36 歳 山下正通 36 歳、島田英夫 35 歳、大石健一郎 35 歳、 波多野孝一 36 歳、川上哲時 35 歳、 政諾社 若連社長 大野雄一 統監 鈴木辰美 31 歳（井口勝明）</p> <p>金達磨 ¥2000 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>グリーンスタンプ第2回青空市 山下広場 全て完売した</p> <p>川上哲治野球教室 青和会主催 田村君の一通の手紙が川上さんのハートを射止めた。青和会が最も燃えた</p> <p>笠井郵便局は第八自治会へ移転した。榎吉良三局長は勇退した。</p> <p>1 月 おびや池田周弘 30 歳 慢性腎臓ネフローゼにて病氣療養生活となる。</p> <p>5 期内藤賢二 81 歳                      4 期平山博三 67 歳</p>

「昭和 50 年は笠井商店会が団結し 64 店が参加して（ジョイシール）を発行。毎月イベント企画で（十日市）チラシを配布した  
 竜西商店会主催の旅行は、バス 7 台 300 人の参加者で夏と冬大盛況がつづいた  
 遠鉄ストア笠井の出店により、流通革命の旋風が商店に吹き荒れた。」

1975	昭和 50	<p>当番社 笠勢司 氏子総代</p> <p>笠勢司 年番長</p> <p>倭魂社 統監寺田儀一 社長川島清輔、平井政治 副森下政洋 28 歳、高柳清、米山守夫、秋山茂、宇田和義、中安茂夫、森重修二、大島昭二 田中清 26 歳、長谷川一夫、加藤泰雄、源馬修一、小野力、中村道孝、鳥羽山悟、高橋和雄、井上、松島、山下、秋山 顧問池田吉仁 29 歳、坪井昴一、笠原祥一</p> <p>精華団 統監加藤厚、社長照井清一 27 歳、西原光雄、竹本克己 28 歳、渥美正二、高津誠、桑原考、吉田聡、大村一夫、市川衛、鈴木啓二、村田直庸、神谷考二、田地川正己、須貝恵、深谷正行、池田照光 顧問平川昇一</p> <p>政諾社 統監井口勝明 社長 磯貝正明、副 松島勇一、大木清一、古木斉、小倉恒雄、池島保、高林幸夫、池島宗五 渥美茂、中村正義、秋山久武、葛西光彦、小杉孝行、加藤俊行、田辺茂美、小栗樹雄、田辺胃次、石野文明 伊藤伊三郎、袴田正美、鈴木敬三、島田敬一、山下泰史、鈴木吉広、杉本四郎、菅沼 顧問大野裕</p> <p>笠勢司 統監河合章、社長寺田博義、副黒川勉、斎藤行雄、磯部順治、小栗和夫、村木徳夫、鈴木春茂、山下清 中野敏男、坂田茂、立花恒男、袴田一郎、小倉康次、岡本茂美、内山孝、大井克美、鎌田好勝、鈴木瑞穂、鈴木万里男、内山康夫、河合朗 顧問池川文男、寺田昌弘、長谷川義和</p> <p>神勢団 統監柳林忠男、社長小栗文博、副佐野喬茂、足立康一、河合利尚、鈴木明吉、神谷文博、池田和行 山下春雄、鈴木政美、鈴木邦太郎、高村正良、顧問山田俊志、高井賢治、杉本靖男、伊藤慈楨、小倉充員 鈴木広、竹内重保、大村信雄、大橋孝幸、鈴木勲、原信雄、松下吉秀、竹内正広、市川太加夫、鈴木利幸、沢田詳右、鈴木良治、坂田明世、鈴木利和、大石五郎、鈴木克己、小田吉三、鈴木政春、若林秀幸、丹羽仁志、山下修、塚本和芳、鈴木秀次、増井俊夫、鈴木茂靖、白井孝行</p> <p>神勢団屋台小屋新築する</p>
------	----------	--

		<p>金達磨¥ 切手 円、 往復はがき 返事 1月5日まで</p> <p>4月 笠井商店会 「ジョイシール」 64店参加 会長池田譲 54歳、副会長田口雅張、松本芳郎 48歳、鈴木康平 47歳</p> <p>8月 十日市実行委員会</p> <p>委員長池田充義 35歳 松井敏弘 32歳、池田吉仁 29歳、井口勝明（毎月イベント企画、実行）第1回納涼夜店市から始まった</p> <p>7月中元大売り出し、12月歳末大売り出し 笠井参加店 84店 竜西商店会連盟主催招待旅行あり</p> <p>第8回市議会選挙 6期内藤賢治 82歳当選 鈴木啓之落選 40歳 浜松市長 5期平山博三 68歳</p> <p>豊西土地改良事業 完成 豊西地区は整備された</p>
1976	昭和 51	<p>当番社 倭魂社 氏子総代</p> <p>倭魂社 年番長、坂田徳治 37歳、臼井 37歳、川島庸夫 35歳、小倉省一 36歳、田中清夫 36歳、高津昭司 35歳、奥島喜平 35歳、鈴木清 35歳、村木和見 37歳、( ) 島田英夫 37歳、大石健一郎 37歳、池田充義 36歳、袴田清麿 35歳 石神清 42歳</p> <p>宮司 8月16日雨 17日雨</p> <p>政諾社 若連社長 大木清一 統監 磯貝正明 (堀内俊明、小倉恒雄)</p> <p>16日 雨 17日 雨 腕章をつけて参加する事。瓶をもって歩かない事。</p>

		<p>4月 青和会会長 池田充義 36歳 第2回町民運動会（笠井婦人会協賛） 第1回盆踊り大会（青和会と商店会協賛）</p> <p>11月 遠鉄ストア笠井店開店</p> <p>6期 内藤賢二 83歳 5期浜松市長平山博三 69歳</p>
1977	昭和 52	<p>当番社 政諾社 氏子総代</p> <p>政諾社 年番長 池田充義 37歳、袴田清麿 36歳、榎吉平之助、西岡忠緒、高林繁樹 36歳、小杉一夫 35歳 奥島喜平 36歳、鈴木昭男 35歳、伊藤伊佐夫 36歳、鈴木清 36歳、田中清夫 37歳、高津昭司 36歳 政諾社 若連社長 中村正義 30歳 副社長 高林幸男</p> <p>祭典を話しあう会を開催する。1) 交通規制（19時から21時）神輿出発を19時30分にする（若連要望を通す）。法被着用無き者は参加認めぬ一般のお供を増やすのに背広でも認める。（総代）</p> <p>多くの氏子に神社に参拝していただくには16日に花火大会をする案を出す。17日に神輿の渡御で客を呼ぶので従来の方が良いとの総代の意見あり、17日に花火大会をすることに決定した。</p> <p>年番は架設電話を導入。花火の目録を改善しA3チラシ表裏に広告をのせて2枚とした。白丁を依頼するのに苦労した。</p> <p>年番同志は、接待など当番社が多忙すぎるので、協力しあうように要請したところ賛同を得た。（年番長池田充義）</p> <p>倭魂社屋台新築計画</p> <p>金達磨¥ 切手円、往復はがき 返事1月5日までに</p>

		<p>4 月青和会会長 榎吉平之助 36 歳</p> <p>6 期 内藤賢二 84 歳 浜松市長平山博三 70 歳</p> <p>商店会 3 月チラシから吉田デザイン・ルームに依頼する。 セブン・イレブンの視察に行く</p> <p>浜名会 会場を笠井新田第一第二公会堂に移す。参加者が増えた為</p> <p>笠井公民館 開設 浜松医大開院</p>
1978	昭和 53	<p>当番社 笠勢司 氏子総代</p> <p>笠勢司 年番長 鈴木昭男 36 歳、伊藤伊佐夫 37 歳、中町 高林繁樹 37 歳、小杉一夫 36 歳</p> <p>倭魂社 統監加藤春夫 社長田中清 29 歳、副山下昭夫、高橋和男、中村道孝、井上修平、小野力、松島和之、源馬修一、米山守夫、川島清輔、宇田和彦、高柳清、長谷川一夫、鈴木孝、高林英俊、坪井義雄、秋山茂、森下政洋、平井政治</p> <p>精華団 統監渥美正二、社長大村一夫、副桑原孝、吉田聡、川島直之、深谷正行、加藤修、池田照光、沢木優、松島明彦、磯部明人、中安孝一、神谷孝二、田地川和幸、大軒茂之、小林孝之、大村覚男、大村慎司、竹内勲、福代善彦、顧問竹本克己、照井清一、堀内聡</p> <p>政諾社 統監 北島宗吾 社長 小栗樹雄、副加藤俊光、内藤雅義、田辺茂美、相沢徹、石野文昭、伊藤伊三郎、鈴木利久、高林昭男、伊藤茂文、中谷勝、池田定明、松本是之、秋山文彦、顧問中村正義、高林幸夫、杉本四郎、島田敬三、袴田正美、山下泰史</p> <p>笠勢司 統監村木徳男、社長小栗和夫、副鈴木春茂、山下清、袴田一郎、内山孝、岡本茂美、坂田茂、小栗勘治、小倉康次、大井克美、内山康雄、鈴木茂、鈴木善晴、武内巖、伊藤卓二、顧問中野敏男、磯部淳治</p> <p>神勢団 統監鈴木邦太郎、社長竹内重保、副高林正良、鈴木広、鈴木政春、鈴木勲、大橋孝幸、小田吉三、松下吉秀</p>

		<p>大村幸夫、原信雄、足立均、沢田洋右、鈴木秀次、山下修、飯田明世、丹羽仁志、坪山龍也、若林秀幸  鈴木利和、竹内正広、鈴木克己、島田淳、鈴木松一、鈴木正美、石神幹夫、鈴木博、山崎克己  顧問池田和行、神谷文博、鈴木政美、鈴木利幸、山下春雄、増井俊夫</p> <p>倭魂社屋台新築（一層唐破風檜造り）早川真匠）</p> <p>村木和見 39歳さんは、神輿の供に参加した。</p> <p>ヤオハン・グリーンエイト笠井店が山下広場に開店した。</p> <p>浜商選抜優勝。            笠井地域の浜商OB100人集まり            笠井支部結成。</p> <p>野球部OB 田地川芳英 40歳、池田充義 38歳準備する。会長池田譲 57歳（甲子園の寄付集め）</p> <p>6期 内藤賢二 85歳            浜松市長平山博三 71歳</p> <p>福来寺 車庫を2棟建設して、有料駐車場とした。</p> <p>金達磨¥                            往復はがき返事 1月5日までに。</p>
1979	昭和 54	<p>当番社 倭魂社  氏子総代</p> <p>倭魂社 年番長            中町 鳥井正明、鈴木辰美、町田宗夫、金田大八  政諾社 若連社長 小杉孝行 統監 小栗樹雄</p> <p>金達磨¥</p>

		<p>おびや「便利な仕出しの店」に業態を変えた。</p> <p>浜松東農協本所完成 野菜冷却設備完備</p> <p>第9回市議会選挙 1期 源馬弘 53歳当選 鈴木啓之 44歳落選 浜松市長 1期 栗原勝 55歳 平山博三勇退</p>
1980	昭和 55	<p>当番社 政諾社 氏子総代</p> <p>政諾社 年番長笠原雅弘 38歳、町田宗男 37歳、鳥井正明、小栗秀一、佐藤順一、佐藤昭夫 政諾社 若連社長 田辺茂美 統監小杉孝行</p> <p>春日社屋台新築 (一層唐破風桧造り) 町内の手造り</p> <p>金達磨 ¥2500 往復はがき 活版印刷、切手 20円 返事 1月5日までに</p> <p>豊西小体育館完成</p> <p>1期 源馬弘 54歳 1期 浜松市長栗原勝 56歳</p>
1981	昭和 56	<p>当番社 笠勢司 氏子総代</p> <p>笠勢司年番長 政諾社 若連社長 相沢徹 統監 田辺茂美</p>

		<p>金達磨 ¥2500 切手 10 円、返事 1 月 5 日までに</p> <p>末島御嶽神社社殿、境内整備 発願者鈴木又一郎、花木義高、鈴木五郎、川合平一、岡本弥左衛門、発願社代表 岡本永夫  相談役 岡本五郎七、川合忠雄、岡本幸雄、川合一夫、事務局川合勇、鈴木源一、岡本成一、川合繁雄  奉賛者 松島富士雄、松島福大、鈴木敏、名倉勝平、岡本周造、松島明、大橋行雄、田代博之、高橋与市、  伊藤久夫</p> <p>1 期 源馬弘 55 歳 浜松市長栗原勝 57 歳</p>
1982	昭和 57	<p>当番社 倭魂社  氏子総代</p> <p>倭魂社 年番長</p> <p>倭魂社 統監 高橋和男、社長小野力、副 源馬修一、源馬正彦、渡辺利光、島田孝幸、高村恒司、石津正、高林英俊  平井政治、加藤春夫、森下政洋、前川晴彦、河合成俊、今井重徳、田辺好志、夏目康博、吉田勲、鳥羽山豊  小嶋直之、池谷勝広、顧問中村道孝、長谷川一夫、井上修平、川島清輔、田中清、秋山茂、</p> <p>精華団 統監神谷孝二、社長加藤修、副相場利光、池田照光、大村覚男、大村慎司、川島直之、小林孝之 国井一伸、  桑原利昭、川島成之、福代善彦、鈴木正弘、大相廣幸、 顧問 桑原孝、大村一夫、沢木優</p> <p>政諾社 統監小杉孝行 社長伊藤伊三郎、副相沢徹、松本是之、伊藤嘉員、池島武彦、安藤寛、鈴木一正、山下智之  袴田正志、中谷勝、山下敏彦、池田定明、栗田初雄、寺田道行、藤田孝明、松島年穂、杉山睦夫、山下浩之  小栗実、松本智明、右島浩之、池田周弘、小栗治彦、田地川浩之、堀内昭次、池川知博、伊藤英立、  顧問加藤俊光、小栗樹雄、田辺茂美、内藤雅儀</p> <p>笠勢司 統監内山孝、社長袴田一郎、副小倉康次、竹内晴彦、大井克美、内山康雄、武内巖、鈴木善晴、伊藤卓二  永井哲雄、山下昌彦、岡本修、岡本克美、鈴木正俊、鈴木隆仁、 顧問鈴木晴彦、中野敏男、村木徳男、  小栗和夫、山下清</p> <p>神勢団 統監若林秀幸、社長松下吉秀、副原信夫、鈴木利和、鈴木松一、鈴木博、竹内正広、足立均 山下修、鈴木清七</p>

		<p>山下修、鈴木正己、鈴木克己、竹内弘之、清水孝司、嶋田淳、大塚康広、坂田充弘、藤田義博 鈴木昌之、顧問小田吉三、高林正良、鈴木広、鈴木政春、大橋孝幸、沢田洋右、大村幸夫、鈴木勲</p> <p>金達磨 ¥2500 祈禱済、445 個注文あり 返事 1 月 5 日までに。高林進夫妻が福来寺の管理人として入居した。</p> <p>笠井中生徒達磨の値段 10 号 1,600 円 13 号 750 円 14 号 650 円 9 号 2000 8 号 2700 7 号 3500 (笠井中生徒調査)</p> <p>奉賛会世話人 (山下光夫、山下吉十、山下昭夫、名倉進、松下幸夫)</p> <p>政諾社屋台新築の件で松本是之、相沢徹君が池田充義に相談に来た。福来寺に住民を集め説明会を開いた。 全員賛成で決定した。その場で建設委員長 影山國一、事業部長犬塚儀明 (松本芳郎、榎吉正幸、島田圭司 ) 財務部長松田誠一郎 (小栗寛、波多野孝一、門奈道夫)、総務部長池田充義 (中津川志郎、石野隆、榎吉平之助)、顧問初村佐一、鈴木憲 選出された。</p> <p>浜名会 会費 1,000 円</p> <p>1 期 源馬弘 56 歳            1 期 浜松市長栗原勝 58 歳</p>
1983	昭和 58	<p>当番社 政諾社 氏子総代</p> <p>政諾社 年番長 秋山久武、小倉恒雄、磯貝正明、袴田正美、松島勇一、大木清一 政諾社 統監伊藤伊三郎    社長袴田正志</p> <p>政諾社屋台新築 (一層唐破風総檜造り) 小池工務店 小池清 彫刻 鈴木嘉一</p>

		<p>8月10日の新築披露当日総務部長池田充義は膵臓炎で緊急入院した。</p> <p>金達磨 ¥2500 切手 10円、返事 1月5日までに第1回寄付集め  中谷小倉 (114件 ¥75,900、高柳安治 70件 ¥26,500)  恒武会館完成。笠井公民館体育館完成</p> <p>2期源馬弘 57歳          2期浜松市長栗原勝 59歳</p> <p>第10回市議会選挙 2期源馬弘 57歳当選 浜松市長 2期栗原勝</p> <p>11月3日 源長院 26世大和尚松島脩一 42歳 晋山式 25世慧文 72歳大和尚茶毘式</p>
1984	昭和 59	<p>当番社 笠勢司  氏子総代 高林駒吉</p> <p>笠勢司 年番長  政諾社 年番 磯貝正明 38歳、小倉恒雄、大木清一、袴田正美、秋山久武 38歳  政諾社 若連社長 安藤寛 統監 袴田正志</p> <p>春日神社本殿を新築した。柱と彫刻は明治32年のものを使用した</p> <p>金達磨 ¥          往復はがき          世話人 (山下吉十、山下光夫、山下昭夫、名倉進、川島庸夫)</p> <p>第2回寄付集め 188件 ¥116,530</p> <p>1月10日 田村毅一 90歳氏逝去 浜名会休む</p>

		2期 源馬弘 58歳 浜松市長栗原勝 60歳
1985	昭和 60	<p>当番社 倭魂社 氏子総代 高林駒吉、</p> <p>倭魂社年番長 政諾社若連社長 中谷勝 統監 安藤寛</p> <p>金達磨¥ 往復はがき 第3回寄付集め 165件 ¥144,700</p> <p>浜名会会長 源馬弘 59歳 就任</p> <p>2期 源馬弘 59歳 浜松市長栗原勝 61歳</p>
1986	昭和 61	<p>当番社 政諾社 氏子総代 高林駒吉、</p> <p>政諾社 年番長 古木斉、山下泰史、相沢徹、田辺茂美、内藤雅義 政諾社 若連社長 松本是之 統監中谷勝 伊藤孝之 池田定明</p> <p>金達磨¥ 達摩市の第4回寄付集め 160件 ¥123,100</p> <p>浜名会 源馬弘</p> <p>2期 源馬弘 60歳 2期浜松市長栗原勝 62歳</p>

		<p>豊町（下石原）御嶽神社改築</p> <p>笠井町 ヨシヤ家具火事</p>
1987	昭和 62	<p>当番社 笠勢司 氏子総代高林駒吉、</p> <p>笠勢司 年番長 政諾社 若連社長伊藤義員 統監松本是之、中谷勝、藤井一三、袴田博之、池田定明、鈴木一正、安藤寛、犬塚俊雄、栗田初雄、寺田道之、松島年穂、藤田孝明、名倉孝之、小栗実、間淵晴美、松本智明、右島浩之、田地川浩之、杉山睦実、伊藤英立、門奈浩之、伊藤充利、杉山英之、伊藤吉行、池沼光宏、大石幸二、池田敦司、中村茂、伊藤伊三郎</p> <p>4月 天満宮百年祭 寄付者 39名 金 362,000 燈籠と幟を新調した</p> <p>金達磨¥ 第5回寄付集め 124件 ¥113,500</p> <p>第11回市議会選挙 3期 源馬弘 61歳当選 3期浜松市長栗原勝 63歳</p> <p>浜名会の会場 豊西支所の二階で開催 会費¥2,000</p>
1988	昭和 63	<p>当番社 倭魂社 氏子総代 高林駒吉、</p> <p>倭魂社 年番長 政諾社 年番 田辺茂美、高林修、古木斉、山下泰史 内藤雅美</p>

		<p>政諾社 若連社長 池田定明 統監 伊藤義一</p> <p>3期 源馬弘 62歳 3期 浜松市長栗原勝</p> <p>金達磨¥ 寄付集め 隣保のみ 20件 ¥20,000</p>
1989	昭和 64	<p>当番社 政諾社</p> <p>1月7日 今上天皇崩御</p> <p>1月10日 金達磨 奉賛会代表に山下吉十 寄付集めは終了</p>
1989	平成1	<p>大提灯2基新調 中島忠司、松下幸夫、金田やす。松本芳郎、中村甲治、 犬塚義明、 青島笹雄、 石埜はつ、池川武雄、田代賢治、平野はな 平野きよ子、小野タキエ、袴田信重、砂子力</p> <p>浜名会 中止</p> <p>氏子総代 高林駒吉、</p> <p>政諾社 年番長高林修、副年番長 加藤修、安藤寛、兼岡静雄、長谷川正吉、中村幹夫</p> <p>政諾社 若連社長松島年穂、副寺田道之、栗田初雄、小栗実、松本智明、門奈浩之、伊藤吉行、右島浩之、田地川浩之、 杉山睦実、杉山英之、池田啓司、鈴木福二、井本浩之、菅沼信夫、犬塚俊雄、名倉孝之、伊藤充利、国本和裕、 池田敦司、伊藤英立 堀内元、長田和彦、馬淵晴美 統監池田定明 顧問 安藤寛、中村幹夫、松本是之、 中谷勝、伊藤嘉員、藤井一三、袴田博之</p> <p>3期源馬弘 63歳 3期浜松市長栗原勝 65歳</p>

1990	平成 2	<p>当番社 笠勢司 氏子総代 高林駒吉</p> <p>笠勢司 年番長 袴田一郎 政諾社 若連社長 栗田初男 統監 松島年穂</p> <p>白丁を人材派遣に頼み実施したが、仲町の休憩所で神輿は傾いてしまったので、これ以上白丁が神輿を担ぐのは無理と年番は話し合った。 輿車と収納庫を祭のあとに作った。来根からは稚児行列で小学校の女子が曳くように決まった。</p> <p>神勢団屋台新築 二層唐破風入母造り 小池工務店 彫刻 早瀬 宏</p> <p>豊町羽鳥 八幡神社改築 恒武町 六所神社改築</p> <p>3期源馬弘 64歳 3期浜松市長栗原勝 66歳</p>
1991	平成 3	<p>当番社 倭魂社 氏子総代高林駒吉、</p> <p>倭魂社 年番長小野力 政諾社 若連社長寺田道之、副 小栗実 杉山睦実 池田敦司 川上高男、鈴木福二 松本智明 伊藤吉行、右島浩之、田地川浩之 池田啓司 井本浩之 菅沼信夫 名倉孝之 伊藤充利、国本和裕 伊藤英立 長田和彦 馬淵晴美 池沼光宏、森下素行 清水孝 滝和紀 川上広市、氏原一平、市原巖、山本徹也、 統監 栗田初男顧問 松本是之中谷勝、伊藤嘉員藤井一三、袴田博之池田定明、松島年穂、</p> <p>春日神社に人を集める方法を年番は考えて実施した。ガラポンで景品、</p>

		<p>投げ持ち、最終日は屋台が全部お宮に集まって練りをやり、年番長が挨拶するようにした。 第1回稚児行列で神輿を曳いた。</p> <p>◆ 西魁団屋台新築（一層唐破風桧造り） 寺田建築 彫刻 志村孝士 ◆ 祭典日 8月14日（金）15日（土）16日（日） ◆ 豊町上 土地改良完成</p> <p>1月10日 笠井町制100周年記念 笠井商店会は元ヤオハンで「だるま展・のみの市」開催する。達摩市と共催</p> <p>市議会選挙 源馬弘引退 後継者なし。松下福次郎 54歳当選 浜松市長4期栗原勝</p> <p>笠井商店会長松井敏弘 事務局松本芳郎 影山國一事務局長勇退。</p> <p>ニチイ浜松店閉店。可美村浜松市へ合併した人口55万人（スズキ自動車）</p> <p>4月21日第10回市議会選挙 1期 松下福次郎 54歳当選 4期浜松市長栗原勝 67歳</p>
1992	平成4	<p>当番社 政諾社 氏子総代 高林駒吉、久島實、鈴木康平、金田吉雄 池田譲 木村徳衛、中川巳一 政諾社 年番長松本是之、池田定明、伊藤孝之、中谷勝 政諾社 若連社長小栗実 副 杉山睦実 田地川浩之 松本智明 川上広市 池田敦司、門奈浩之、川上高男、鈴木福二 伊藤吉行 井本浩之 菅沼信夫 長田和彦 統監 寺田道之 顧問 松島年穂、栗田初雄</p> <p>祭典日は盆休みの8月14日15日16日に変更した。曜日の変更は毎年ある。</p>

		<p>花火屋は14日土、15日日に曜日を間違えて花火を上げた（通常は14日は前夜祭で15日16日の大祭に花火はあげた）</p> <p>暴走族が笠井へ集結して中町の交差点で暴れるので、祭典本部はおびや駐車場を提供した。</p> <p>福来寺「慈光会」発足 会長久島實、副会長兼事務長池田充義、奉賛会代表山下吉十 会計田村滋治      会員150名 年会費¥3000 達磨市の応援団 観音講座開催 示現会6月10日に開催</p> <p>1期 松下福次郎 55歳                      4期浜松市長栗原勝 68歳</p> <p>はままつ友愛の里 完成                      学校週休二日制</p>
1993	平成5	<p>当番社 笠勢司      氏子総代 高林駒吉</p> <p>笠勢司 年番長      政諾社 若連社長 杉山睦美 統監 小栗実</p> <p>笠勢司屋台新築（一層大唐破風桧造り （有）安間工務店 旧屋台は渡瀬町へ</p> <p>達磨市 松下清泉書「達磨市」100本「聖観世音菩薩」の幟を100本製作して1本¥2000で販売      正面駐車場にテントを張り イベントを行う 「達磨市の俳句募集」</p> <p>来年は「笠井の観音様」御開帳を企画 準備に入る</p> <p>笠井小学校開校120周年記念式典</p>

		<p>1期松下福次郎 56歳      4期浜松市長栗原勝 69歳</p> <p>都田土地区画整理事業完成      積志郵便局完成業務開始      かささぎ大橋着工</p>
1994	平成6	<p>当番社 倭魂社 氏子総代 高林駒吉 池田譲</p> <p>倭魂社 年番長 政諾社 若連社長 右島浩之 統監 杉山睦美</p> <p>精華団屋台新築（一層唐破風檜造り）大工 大城勝久 彫士 雨宮國雄</p> <p>神輿の供（袴、袴、烏帽子の正装で初参加池田充義、山下吉十 22年目、村木和巳 17年目、石神勲、伊藤伊佐夫）白丁が担ぐ。重たい肩に食い込む。ゆっくりと下駄で歩く。あまりに遅いので、結構疲れる。池田の家紋入り提灯に櫛を持ち、道路の真ん中を歩く、両側の道路には、座っている人の列、神輿が通過するときは、頭を下げる天狗が大櫛で家内安全をお祓いして歩く。屋台が提灯をかざして、後ろに並んでいる光景は、この場所でないと見ることができない。壮観な夜空だ。近隣では、類を見ない笠井祭は凄いと感じた。</p> <p>明治15年（1882年）黄金の神輿は112年続いている。</p> <p>池田充義 54歳神輿のお供に羽織袴下駄白足袋烏帽子の正装で参加した。山下吉十さんは22年目お供をしている</p> <p>奉賛会は金達磨 （パソコンで集金の受付）      名札 お札</p> <p>福来寺の正面看板を設置「笠井観音」「達磨市」</p> <p>1期 松下福次郎 57歳      4期浜松市長栗原勝 70歳</p>

		御開帳の寄付金 106人 ¥194万円 境内幕、机、展示ケース 畳替え、床修理  6月10日 笠井観音 御開帳 83年ぶり 朝8時～夜10時まで静寂な列並んだ。5000人の来場あり
1995	平成7	当番社 政諾社 氏子総代 池田譲、中川巳一、木村徳衛、久島實、柴山寅義、金田吉夫、鈴木政治  政諾社 年番長栗田初雄、小栗実、松島年穂、寺田道之、三室正義、袴田成俊 政諾社 若連社長 松本智明 統監 右島浩之  政諾社社長松本智明から屋台小屋改修の話池田充義に相談あり、初村さんと相談の上、自治会長のその旨を伝えた。 結果新築する事に決定大木工務店に入札の結果決定した。  4月23日市議会選挙 1期 大木しんや46歳当選 松下福次郎58歳落選 浜松市長5期栗原勝71歳  浜名自動車(株)は浜名ワークスと改名。浜北市上島へ工場移転した。社長田村慎一66歳  11月竜西商店会連盟 「りゅうせい・カード」開始する 2%サービス シールからポイントへ移行した  笠井商店会会長 田村滋治52歳 本会計池田充義55歳 りゅうせい会計渥美祐一64歳
1996	平成8	当番社 笠勢司 氏子総代 池田譲、中川巳一、木村徳衛、久島實、柴山寅義、金田吉夫、鈴木政治  笠勢司 年番長 政諾社 若連社長 門奈浩之 統監 松本智明

		<p>9月25日移動 10月12日解体 塗り直す</p> <p>神輿解体する（春日神社神輿 明治十五年五月十日 棟梁 加藤文二郎）</p> <p>達磨市 「第一テレビ生中継」森きっこ 大反響 慈光会は納めだるまを担当する。車庫を改装する。 高崎達磨市を視察（山下吉十、池田充義、西尾一男）</p> <p>観音堂の屋根を銅板に変えた。</p> <p>7月「リブロス」笠井開店 いけとも、松風屋、寺田米店、田辺写真、清水刺繍 が出店した。</p> <p>浜名会は、議員の招待を中止する事になった。 会長田村慎一 68歳</p> <p>1期 大木新也 47歳 5期浜松市長栗原勝 72歳</p>
1997	平成9	<p>氏子総代 池田譲、中川巳一、木村徳衛、久島實、柴山寅義、金田吉夫、鈴木政治</p> <p>倭魂社 年番長 政諾社 若連社長 伊藤吉行 統監 門奈浩之</p> <p>だるま市にシャトルバス運行。寺谷の子安子育て観音は百年に一度の御開帳、笠井観音と姉妹と昔から言い伝えられているという寺谷の世話人をバスで送迎して招待した 「どんどこどん」テレビ静岡生中継でおびやにて、「だる弁」を実演。これが縁で、だる弁の試作を始めた。池田充義 57歳</p> <p>藤枝の長橋秀明さんを訪問して、手造りの張り子達磨を10万円発注した。池田充義寄贈</p>

		橋本内閣消費税 5 % 分別ゴミ収集始まる 西部百貨店閉店  1 期 大木新也 48 歳 5 期浜松市長栗原勝 73 歳
1998	平成 10	氏子総代 池田譲、中川巳一、木村徳衛、久島實、柴山寅義、金田吉夫、鈴木政治  政諾社 年番長杉山睦美、石野昭彦、袴田、松田、滝欣也、高木 政諾社 若連社長 田地川浩之 統監 伊藤吉行  稚児資格を取り決めた（年番稚児担当富田年一）稚児参加ポスターの作成し広く知らせた  達磨市 法被 60 着揃えた。吉田デザインのデザインを白木屋で製作した  種銭 2000 個 甘酒 1200 カップ（おびやで製造して運んだ） 慈光会の仕事を増やす  納めたるまから集計分析 8 年 629 個、9 年 601 個、10 年 778 個 金達磨 400 個位 約 1000 個販売と推定  6 月 10 日示現会に 遠州大念仏を招待した。福来寺では昔 7 月 10 日に大念仏が何組も来た大観衆だった  1 期 大木新也 49 歳 5 期浜松市長栗原勝 74 歳
1999	平成 11	氏子総代 池田譲、中川巳一、木村徳衛、久島實、柴山寅義、金田吉夫、名倉長市 石神清宮司  笠勢司 年番長岡本克美、富田年彦、鈴木（油屋）加藤伸治、青柳孝、長谷川敏明、大村孝寿、前川晴彦、桑原利昭、高橋章、今井重徳、湯口伸吾増田晃久、犬塚勉志、松下智之、石野明彦、松田和敏、高木英俊、鈴木正俊、川合真一、

		<p>政諾社 若連社長 堀内元 統監 伊藤吉行</p> <p>12月2日 仲町公会堂落成式 (建設委員長門奈道夫、委員古木勇、久島實、佐藤順一、池田充義其の他)</p> <p>仲町公会堂の件で住民集合し、説明会あり、元役場の敷地を公会堂を作らない場合は浜松市へ返還するという内容だった。子孫にこの土地を残すべきか？ 反対意見も少数あったが、公会堂を新築し、浜松市からの補助金をもらい、備品は特別寄付金でまかなう、と言うことで子孫の為に仲町公会堂として使用するようになって、現在も住民の為にしている。決断の時期の大切さを痛感した。(池田充義談)</p> <p>達磨市 甘酒は車庫の中で製造した。リブロスへ達磨市の看板と大藤枝達磨を設置宣伝する</p> <p>第14回市議会議員 2期大木しんや 50歳当選 (選挙違反で辞退) 松下福次郎 52歳 2期当選 浜松市長 1期北脇保之 47歳</p> <p>平成の大合併 (浜北市、引佐町、三ヶ日町、雄踏町、天竜市、佐久間町、水窪町、龍山むら、春野町)</p> <p>(株)おびや社長 池田大 29歳</p>
2000	平成 12	<p>氏子総代 池田譲、中川巳一、木村徳衛、久島實、柴山寅義、金田吉夫、名倉長市 石神清宮司</p> <p>倭魂社 年番長 今井重徳 副年番長 高橋章、前川晴彦、田辺好志、高橋章、山下浩之、増田晃久、犬塚強志、鈴木健市中町、石野昭彦、高木英俊、山下智之、鈴木章好 本町 加藤伸司、鈴木正俊、長谷川敏明、斎藤元彦、坂田充弘</p> <p>春日神社祭典のすべて撮影。写真担当 山下智之 (協力笠井ぴんぼけ倶楽部) 郷土の歴史と文化を学ぶ会</p> <p>政諾社 若連社長 山下明伸 統監 堀内元</p>

		<p>春日神社の神木を伐採する。</p> <p>達磨市 みそのや「観音饅頭」販売 2000 個完売</p> <p>1 月源長院の世話人を池田充義 60 歳受ける。2 月本堂建設準備委員会スタート 11 月世話人全員の賛成を得る</p> <p>2 期松下福次郎 63 歳 1 期浜松市長北脇保之 48 歳</p>
2001	平成 13	<p>氏子総代 池田譲、中川巳一、木村徳衛、久島實、柴山寅義、金田吉夫、名倉長市 石神清宮司</p> <p>政諾社 年番長山下智之 榎吉康博、中津川 政諾社 若連社長 武田征巳 統監 山下明伸</p> <p>4 月源長院建設委員会発足 委員長寺田好、副委員長松島初雄、清水豊、池田充義。事業部長清水昭、財務部長清水源次、総務部長池田充義 監査久島實、松田誠一郎。池田富一、松島福大、内山弘毅、池田弘、鈴木保夫水野智秋、松島知次、松島修、池田政夫、松島勝、榊原安芳、河合定吉、寺田か佳織、松浦幹男、鈴木祐佑、松島孝義一瀬数敏、一瀬康弘、太田一夫、松島弘治、26 世住職、副住職松島聡雄、</p> <p>天峰建設社長澤元教哲、棟梁佐野喜久雄、屋根塚本勇人 鬼瓦遠州鬼秀 4 代目名倉孝</p> <p>11 月 14 日 松菱倒産</p> <p>1 期松下福次郎 64 歳 1 期浜松市長北脇保之 49 歳</p>
2002	平成 14	<p>氏子総代 池田譲、中川巳一、木村徳衛、久島實、柴山寅義、金田吉夫、名倉長市 石神清宮司</p>

		<p>社務所建設委員会 会長 池田譲、副会長 久島實、会計 金田吉雄夫、管理部長 名倉長市、副 山下智之、監査 木村徳衛、委員長 羽山立、門奈道夫、長谷川幸次、中野誠一、高林七郎、鈴木武次、鈴木政治、竹内鉄雄、若林利夫、鈴木廣、鈴木基司、竹下一級建築事務所、伊藤建築、伊藤三喜男</p> <p>笠勢司 年番長（羽鳥屋） 政諾社 若連社長 菅沼貴久 統監 武田征巳</p> <p>6月おびや新店舗 宴会場開店</p> <p>達磨市 天王町の笠井織鈴木正一三招待し販売する。</p> <p>浜名会 産業展示会・地場会館で開催 J A 東農協本店は解体された</p> <p>1期松下福次郎 65 歳 1期浜松市長北脇保之 50 歳</p> <p>6月福来寺の示現会は終了した。誰も来る人がいなくなった。</p>
2003	平成 15	<p>氏子総代 池田譲 82 歳、鳥羽山立、木村徳衛、久島實、門奈道夫、金田吉夫、名倉長市 石神清宮司</p> <p>倭魂社 年番長 小島 政諾社 若連社長 滝 和紀 統監 菅沼貴久</p> <p>社務所新築工事（3月12日～7月31日）（参考資料 詳細記事）完成</p> <p>第15回市議会選挙 2期松下福次郎 66 歳当選（鈴木真人辞退して自由投票） 浜松市長 2期北脇保之 51 歳</p>

		<p>第一テレビ生中継 那須洋子来場 満員大反響。北の車庫を改造して慈光会本部とした。</p> <p>浜名会 産業展示会・地場会館で開催</p>
2004	平成 16	<p>氏子総代 池田譲、鳥羽山立、木村徳衛、小栗寛、門奈道夫、金田吉夫、名倉長市 石神清宮司</p> <p>政諾社 年番長池田大 34歳、菅沼貴久、伊藤吉行、堀内元、井伊明、岩田芳弘、武田征巳、山下明伸 政諾社 若連社長 榎吉信博 34歳 統監 滝和紀</p> <p>祭典本部は伊藤伊佐夫 63歳駐車場に変更した。祭典ポスターに広告を付けた。</p> <p>達磨市シャトルバス 味噌饅頭 300個無料配布。1355人の乗車あり</p> <p>浜名会はおびや宴会場（100名収容）開催</p> <p>11月「随處物語」池田充義 64歳著 孫の会に配布</p> <p>9月「おお川 桜の水辺の会」発足</p> <p>2期松下福次郎 67歳 1期浜松市長北脇保之 52歳</p>
2005	平成 17	<p>氏子総代 池田譲 84歳、小野鈿、森下進一、小栗寛、門奈道夫、金田吉夫、名倉長市 宮司 石神清</p> <p>笠勢司 年番長 高林卓司 政諾社 若連社長 川上浩市 統監 榎吉信博</p>

		<p>5月 久島實慈光会会長が入院。 達磨市 中越地震募金 ¥32,428</p> <p>第16回市議会議員選挙 12町村合併により17人選出 松下福次郎3期68歳当選、 2期北脇保之53歳</p> <p>第1回行革審議会発足</p>
2006	平成18	<p>氏子総代 山崎純三70歳、小野鈔70歳、小野隆一、小栗寛、門奈道夫、池田真澄、名倉長市 宮司 石神清</p> <p>倭魂社 年番長 市川徹 政諾社 若連社長 池川宏澄 統監 川上浩市</p> <p>春日神社 外周石垣工事開始 松尾石材 2年間位工事にかかった。</p> <p>3月浜名会事務長 源馬修一逝去 9月源馬弘会長逝去</p> <p>11月 源長院本堂落慶式典 12月源長院記念誌配布 編集責任者池田充義66歳、松島秀夫 題字松島福大</p> <p>3期松下福次郎69歳 2期浜松市長北脇保之54歳</p>
2007	平成19	<p>氏子総代 山崎純三、小野鈔、小野隆一、小栗寛、門奈道夫、池田真澄、名倉長市 宮司 石神清</p> <p>政諾社 年番長池田正樹、 政諾社 若連社長 佐藤佳史 統監 池川宏澄</p> <p>達磨市「市神様」伊藤伊佐夫さん敷地で行う。新原電設電気担当する。甘酒は芳川町酒井麴本舗から仕入れる</p>

		<p>浜松市政令指定都市となった。</p> <p>第 17 回市議会選挙 4 期 松下福次郎 70 歳当選自民党から立候補した。 浜松市長 1 期鈴木康友 50 歳 北脇保之 55 歳敗れる</p> <p>西の山公会堂建設委員長 鈴木和平</p> <p>随處遺品整理で（尊徳遺髪発見）（老泉俳画集）発見</p> <p>浜名会 浜名ワークス社長田村慎一氏 78 歳が主宰者となった。</p> <p>イトーヨーカドー浜松駅南店閉店 浜北サンストリート開店、 第 1 回東京マラソン大会 福田康夫総理大臣</p>
2008	平成 20	<p>氏子総代 山崎純三 70 歳、小野鈔 70 歳、小野隆一、小栗寛、門奈道夫、池田真澄、岩崎秀夫 宮司 石神清</p> <p>笠勢司 年番長 菅沼紳一郎 政諾社 若連社長 遠藤一重 統監 佐藤佳史</p> <p>東高校の達磨市を見学する。 12 月 達磨市世話人交代。</p> <p>池田充義 68 歳、川島庸夫 67 歳緒、門奈運東 67 歳、田村慈治 65 歳、山下勝哉 65 歳。14 世住職黒澤龍司</p> <p>5 月「源長院句碑整備委員会 （委員長松島知次、事務長池田充義 68 歳、会計松島孝義、松島初雄、松島福大、源長院 26 世住職。 工事松尾石材店、丸金工務店、五常園 7 月工事開始～21 年 2 月完成</p>

		<p>チヨタ遠越基金 東区役所、143人寄付者 源長院世話人 総工費¥8,930,000</p> <p>「俳句の里」西原勲、松島秀夫、鈴木武、河内道守 72歳、池田充義 68歳、出版配布</p> <p>4期松下福次郎 71歳 1期浜松市長鈴木康友 51歳</p>
2009	平成 21	<p>氏子総代 山崎純三、高津昭司、川合三男、小栗寛、高柳多一、石神勲、岩崎秀夫 宮司 石神清</p> <p>倭魂社 年番長渡辺桂 政諾社 若連社長 大木 剛 統監 遠藤一重</p> <p>2月源長院句碑完成 十湖石碑建立（浜松は出世城なり初松魚） 生誕 160年</p> <p>笠井聖観世音を鈴木眞司匠 73歳に修復をお願いした。江戸後期の釘発見、厨子須弥壇も修復。雨漏りで腐っていた。</p> <p>屋根工事、内装工事行う。牧野良香水晶を寄贈。工事費池田充義が寄付。 本堂大提灯新調した。平成の大改修実施（井戸息抜き、鳩の糞除去、天井消毒、金網張る。樹木伐採）</p> <p>3月源長院「十湖俳句会」世之介師匠が講師で始めた。7月 14日 15日、福来寺の盆供養祭を引き継ぐ</p> <p>9月 8日 慈光会久島實会長 83歳逝去 17年間指導していただいた</p> <p>浜名会 存続希望多数で、会費¥3000でおびや宴会場で行う。世話人 19人 110人収容</p> <p>4期松下福次郎 72歳 1期浜松市長鈴木康友 52歳</p>

2010	平成 22	<p>氏子総代 坂田徳治 71 歳、高津昭司、川合三男、小栗寛、神谷良一、石神勲、岩崎秀夫 宮司 石神清</p> <p>政諾社 年番長 浅倉登志雄 國井均、飯塚和夫、村木規利、榎吉信博、藤森正美、袴田光義 政諾社 若連社長 川本博之 統監 大木 剛</p> <p>1 月 10 日慈光会解散（感謝だるま）会員に贈呈。達磨市保存会と改名する。平成の大改修寄付集め ¥938,000</p> <p>正面階段を手摺付きでコンクリートで建設した。会館の床改修した（土足入場可）</p> <p>12 月 14 日 十湖百句塚完成 （法永寺から豊西町下へ移転）</p> <p>5 月笠井商店会（だるま・シール）に変更した。会長松井敏弘</p> <p>源長院豊川稻荷イベント（第 1 回金原亭世之介落語会開催）</p> <p>4 期 松下福次郎 73 歳 1 期浜松市長鈴木康友 53 歳</p>
2011	平成 23	<p>氏子総代 坂田徳治、高津昭司、川合三男、小栗寛、神谷良一、石神勲、飯田初男 宮司 石神清</p> <p>笠勢司 年番長 政諾社 若連社長 佐藤晃史 統監 川本博之</p> <p>達磨市 第 1 回写真展開催（笠井商店会主催） 浜松市商工課援助 懐かしの笠井 村木千代八 企画構成</p> <p>3 月 東北大震災 浜松祭中止</p>

		<p>第 18 回市議会選挙 第 1 期 高林おさむ 60 歳当選。松下福次郎逝去 2 期浜松市長鈴木康友 54 歳</p> <p>後援会長に門奈運東 バレーの父兄中心で選挙活動</p> <p>達磨市 牧野良香 朱印彫る 福来寺朱印帳を始める。 東館を倉庫に大改修。</p> <p>正面の 6 基提灯新調 寄付者 東寿司、松風屋、マツシタ薬局、こまつ屋、いけとも、おびや</p> <p>達磨市 120 周年記念 福来寺仏具を新調し、又塗り変える。國本工業（株）國本幸孝、故山下光夫・三代子北浜屋（株）日下部富孝。牧野良香。（株）おびや会長池田充義、八木橋佑子・田村慈治。</p> <p>源長院豊川稲荷 第 2 回世之介落語会</p>
2012	平成 24	<p>氏子総代 坂田徳治、小倉省一、河合眞司、小栗寛、神谷良一、伊藤伊佐夫、飯田初男 宮司</p> <p>年番長 上町) 前川恭輝 島田勝利、西村嘉晃 西町) 副年番長 是永剛、鈴木心 西の山) 小池晃、新村範和 仲町) 池野孝生、榎吉信博、田邊一巳、長森基樹、 本町) 青木誠、鈴木勝、春野町) 村木雅人、中津川良春、鈴木大介。</p> <p>統監 倭魂社) 川崑龍、 精華團) 近藤英晴、政諾社) 佐藤晃史、笠勢司) 磯貝隆行、神勢團) 田邊俊勝 若連社長 倭魂社) 松島寛信、精華團) 袴田和之、政諾社) 池田大 、笠勢司) 中野公博、神勢團) 大橋達弥</p> <p>笠井まつりパンフレット第 1 回を作成した。</p>

協賛会社 東寿司、お茶の松本、おびや、川合うなぎ店、あかつき、川嶋養蜂園、五味八珍  
ここ一番屋、フルーツこまつ屋、たけだ魚屋、(株)北浜屋、肉の坂田、すし秀、セブンイレブン笠井店飯田店、  
達摩、田中酒店、日本橋、ほまわり、マルス青果店、今泉時計店、小田クリーニング、(有)寺田米穀店、  
ノーブル島、(有)松風屋、(株)松田屋、丸保、クレアシオン、ソフトバンク笠井店、高橋畳店、池田提灯店、  
西村時計メガネ店、前川サイクル、みそのや、みちる、アダチ家電(有)代行運転アポロ、大屋ちょうちん店、  
理容はせがわ、ビューテイスワン、鈴木屋根工事、秋山治療院、大須賀医院、かねた耳鼻咽喉科医院、いけとも、  
石橋写真館、(株)スズショウ、(有)袴田サービスステーション、遠州信用金庫笠井支店、  
JA とぴあ浜松笠井支店、(有)加藤製作所、(有)浜松第一自動車、まるてつ工業(有)、(有)みずの加工、  
多野電機(株)、笠井文泉堂、ふとん松屋、(有)マルツ伊藤商店、(有)村木新聞店、ヤマハ音楽教室、  
静岡銀行笠井支店、浜松信用金庫笠井支店笠井商店会。やぎはしたばこ屋、リブロス笠井、いぐちカットサロン、  
美容光花、JOY理容、前川整経、(株)アドビジョン銀座SUZUKI、シスター美容院、(株)大木工務店、  
マツシタ薬局、(有)市川鉄工所、(株)インテック、浜松オリエンタル自動車。国本工業(株)浜松資材(株)  
エアイトバイカーズファクトリー。

1期 高林修 61歳 2期浜松市長鈴木康友 55歳

達磨市 第2回写真展 織物の町笠井。笠井商店会主催 構成村木千代八 69歳

未来への贈り物 1年間かけて笠井連合会地域のすべての行事を写真の撮影

3月 笠井商店会60周年記念イベント 笠井音頭 披露

だるま会館の屋根 新調、羽目板改修。児童公園のトイレ4基新調した。

1月20日 法光院14世黒澤祥龍大和尚示寂 92歳

		源長院豊川稲荷第3回 金原亭世之介落語会
2013	平成 25	<p>氏子総代 1) 川嶋庸夫 2) 小倉省一 3) 河合眞司 5) 小栗寛 6) 波多野孝一 7) 伊藤伊佐夫 8) 飯田初男</p> <p>政) 年番長 池野孝生、副年番 田辺一己、榎吉信博、長森基樹、西山徹、小池直也、本) 中野雅章、鈴木勝、春) 加藤智大、鈴木大介、中津川良春。西) 新村範和、</p> <p>若連社長 政) 秋山英正。倭) 水野健太郎、精) 池田正孝、笠) 岡本純、神) 高村勇次、西) 関口秀昭、春) 太田明彦 統監 政) 池田大。倭) 松島寛信、精) 袴田和之、笠) 中野公博、神) 大橋達弥、西) 大平真也、春) 石津勝教</p> <p>達磨市第3回写真展 (ふるさと写真展) 笠井商店会主催 構成村木千代八</p> <p>特大金達磨を (アローマメロン) 組合へ寄贈</p> <p>1期高林修 62歳 2期浜松市長鈴木康友 56歳</p> <p>豊西小開校 100周年</p> <p>十湖百句塚に「幻住庵の句碑」鳴門幻住庵保存会と十湖句碑保存会共催で建立</p> <p>「現代に蘇る報徳の絆」(河内道守 77歳、大谷洋介 76歳、池田充義 73歳) 豊西町上下全戸に無料配布した。</p>
2014	平成 26	<p>氏子総代 1) 川嶋庸夫 2) 小倉省一 3) 河合眞司 5) 小栗寛 6) 波多野孝一 7) 伊藤伊佐夫 8) 嶋田順一</p> <p>年番長 本町) 中野雅章、鈴木勝、佐藤淳、副年番長 (春) 加藤智大、山崎史佳、小栗繁太郎、上町) 西村嘉晃、川嶋龍、門奈孝之、西町) 砂子均、関谷進、西の山) 山下隆彦、関口秀昭、仲町) 小池直也、西山徹、岩品好和、平川知行</p>

		<p>統監  笠勢司) 名倉邦典、西魁団) 鈴木秀人、神勢團) 高村勇次、倭魂社) 水野健太郎、政諾社) 秋山英正、春日社) 太田明彦、精華團) 池田正孝  若連 笠勢司) 岡本純 西魁団) 園川和之 神勢團) 大橋弘嗣、倭魂社) 森下泰之、政諾社) 小林伸行、春日社) 又平誠、精華團) 林友</p> <p>4月1日消費税8%になった</p> <p>元笠井郵便局を池田大再生する</p> <p>12月福来寺北土地と川島庸夫土地交換する。北車庫解体する。有料駐車場兼保存会本部の車庫建設</p> <p>イトーヨーカドー宮竹店閉店</p> <p>1期高林修 63歳      2期浜松市長鈴木康友 57歳</p>
2015	平成 27	<p>氏子総代 1) 川嶋庸夫 2) 小倉省一 3) 長谷川義和 5) 小栗寛 6) 波多野孝一 7) 加藤有是 8) 飯田初男</p> <p>年番長 倭魂社 川嶋龍、門奈孝之、松島寛信、関口進、鈴木明生、長谷川義和、関口秀昭、桑原宏充</p> <p>統監 倭魂社) 森下泰行、精華團) 林友行、西魁団) 園川和之、政諾社) 小林伸行、笠勢司) 名倉邦典 神勢團) 大橋弘嗣、春日社) 又平誠</p> <p>若連 倭魂社社長島田勝利、精華團) 山崎弘、西魁団)、袴田浩介、政諾社) 鈴木重史、笠勢司) 名倉邦典、神勢團) 鈴木健文、春日社) 鈴木雅巳</p> <p>第5回写真展 笠井協働センターと東高校と共催 達磨市保存会主催 構成村木千代八</p>

		<p>遠州加工食品協働組合（遠食）松田和敏社長により達磨市に出店</p> <p>元笠井郵便局で「彫刻展」開催</p> <p>第 19 回市議会選挙 2 期高林修 64 歳 当選                      2 期浜松市長 鈴木康友 58 歳</p> <p>福来寺盆供養会 遠州大念仏 6 年連続開催 新田巴組</p>
2016	平成 28	<p>当番社 政諾社</p> <p>氏子総代 小栗寛、内藤雅義、井熊勝喜、飯田忠男、加藤有是、嶋田順一、宮司石神清 禰宜 石神好洋</p> <p>年番 年番番長牛田浩和、副年番長岩品好和、平川知行、鈴木真也、鶴田智武、笠原裕二、本町) 磯貝隆行、名倉邦典、春日町) 田辺俊勝、大橋達也、高村勇次、上町) 門奈孝之松島寛信、西ノ山) 桑原宏充、寺田基伸 住吉町) 鈴木明生、上田勝志、豪雨にて中断した。</p> <p>統監 政諾社) 鈴木重史、笠勢司) 中野公博、神勢團) 鈴木健文、倭魂社) 島田勝利、精華團) 山崎弘、西魁団) 袴田浩介、春日社) 鈴木雅巳</p> <p>若連 政諾社社長) 内村岳史、笠勢司) 岡本雄也、神勢團) 水野由也、倭魂社) 森下晃次、精華團) 石川賢太郎、西魁団) 小山晃生、春日社) 古山博章</p> <p>8 月 15 日豪雨 笠井街道には一人も見物する人はいない。初めて見る光景だ、年番がずぶぬれになって神輿を御仮屋へ走って曳いていった。</p> <p>本年は 21 年のお供が終わり雨の歓迎を受けてしまった。</p>

		<p>第6回写真展 達磨市保存会主催 協働センターと東高校共催 構成村木千代八</p> <p>11月十湖俳句会 卒業式行う。(かぶとむし)俳句集手作りで作成した</p> <p>10月達磨市保存会運営委員会 (会長池田充義 会長代行田村滋治、黒澤住職、川島庸夫、山下勝哉、照井清一村木千代八、森下政洋、高橋和男、池田吉仁、山下昭夫、高柳清、竹本克己、高林修、松井敏弘、門奈運東、顧問 田中充、牧野良香)</p> <p>2期高林修 65歳                      2期浜松市長鈴木康友 59歳</p>
2017	平成 29	<p>当番社 笠勢司</p> <p>氏子総代    氏子総代 小栗寛、内藤雅義、井熊勝喜、飯田忠男、加藤有是、若林秀幸、長谷川義和 禰宜 石神好洋</p> <p>年番 年番長名倉邦典、中野公博、高村勇次、松島寛信、上田勝志、林友行、寺田基伸、竹原裕二、鈴木真也、森下泰行 鈴木秀人、鶴田智武、島田哲也、磯貝隆行、大橋達也、鈴木健文</p> <p>春日神社の古書をまとめる 編集池田大、解説村木千代八、書類編集池田充義</p> <p>第7回写真展 直虎特別展 大凧(鈴木祐佑さん寄贈)遊書牧野良香 構成村木千代八</p> <p>源長院豊川稲荷第8回世之介落語会                      名会主宰者 田村慎一逝去 88歳</p> <p>2期高林修 66歳                      2期浜松市長鈴木康友 60歳</p> <p>5月 コストコ・ホールセールジャパン(株)宮竹へ進出</p>

2018	平成 30	<p>当番社 倭魂社 氏子総代 1) 生熊勝 喜 2) 飯田忠 男 3) 新井太郎 5) 小栗寛 6) 内藤雅 義 7) 寺田博義 8) 若林秀幸 宮司 石神清、禰宜石神好洋</p> <p>年番 年番長上町) 森下泰行、市川徹、前川恭、住吉町) 副年番長) 林友行、山崎弘、西の山) 鈴木秀人、足立昌昭 仲町) 川本博之、小林伸行、嶋田哲也、浜崎克志、本町) 中野公博、青木利雄、春日町) 鈴木健文、大橋弘嗣、佐藤孝之 統監 倭) 渡邊健太郎、精) 石川高雄、西) 齋藤吉明、政) 竹原裕二、笠) 岡本純、神) 竹内誠一郎、春) 浦中享輔</p> <p>若連社長 倭) 浜田真吾、精) 河島直久、西) 中道元則、政) 相沢徹也、笠) 岡本雄也、神) 大橋達弥、春) 松本知也</p> <p>津島神社は、4月改修されました。</p> <p>8月15日 雨天中止 16日は小雨決行した</p> <p>5月 竜西商店会連盟 解散 1956年～2018年62年の幕閉じる</p> <p>「60年の歩み」笠井商店会池田充義編集、著 浜松中央図書館と浜松商工会議所に寄贈した</p> <p>源長院 17世松島聡雄住職就任 32歳。総代松島修、寺田佳織、池田充義 78歳</p> <p>9回豊川稻荷落語会 今回で終了となった</p> <p>11月福来寺へ中谷洋裁店解体し返還。塀を建て排水溝、砂利で整地、東館塗装。「市神様」の祭事を来年から この地で行う。歴史看板建てる。</p>
------	----------	---

		<p>1 月浜名会は旧世話人退陣、鈴木真人君会長で 19 人新世話人</p> <p>11 月 3 日 元笠井郵便局で「笠井報徳社」理事長山下智之 設立した</p> <p>2 期高林修 67 歳          2 期浜松市長鈴木康友 61 歳</p>
2019	平成 31	<p>当番社 政諾社</p> <p>2 月 18 日 神輿渡御（無形民俗文化財） 神輿（有形民俗文化財） 浜松市地域遺産に登録された</p> <p>1 月 10 日 市神様祭事は福来寺境内で行う（餅を配布）</p> <p>達磨市第 9 回写真展 明治 150 年 笠井出身甲子園球児を紹介 構成村木」千代八 ふるさと歌謡ショー</p> <p>4 月 第 20 回 市議会選挙 3 期高林おさむ 68 歳当選          1 期鈴木真人 60 歳当選          4 期浜松市期鈴木康友</p>
	令和 1	<p>令和 1 年 5 月 1 日 年号 令和となった</p> <p>氏子総代 1) 松島知之 2) 照井清一 3) 新井太郎 5) 小栗寛 6) 内藤雅義 7) 寺田博義 8) 若林秀幸 コロナで祭典中止</p> <p>年番 年番長川本博之、副年番長小林伸行、嶋田哲也、浜崎克志、深澤伸介、堀之内克喜 本町) 中野公博、青木利雅、名倉邦典、春日町) 大橋弘嗣、佐藤孝之、水野由也、上町) 西村嘉晃、鳥羽山豊、住吉町) 山崎弘、池田正孝、西ノ山) 足立昌昭、大平真也</p> <p>統監 政諾社相澤徹也、笠勢司) 岡本雄也、神勢團) 大橋達也、倭魂社) 池田真吾、精華團) 河島直久、西魁団) 中道元則、</p>

		<p>春日社) 松本知也</p> <p>若連 政諾社社長河合明論、笠勢司) 永井慎也、神勢團) 鈴木信吾、倭魂社) 池谷修司、精華團) 柳林峰房、西魁団) 荻野哲也、春日社) 藤森孝敏</p> <p>笠井の祭りを古文書から読み解く</p> <p>6月だるま市保存会会長田村慈治</p> <p>10月源長院豊川稲荷イベント (田辺一邑講談 田畑政治物語、</p> <p>防潮堤が完成した。 大須賀会頭</p>
2020	令和2	<p>当番社 笠勢司</p> <p>氏子総代 1) 松島知之 2) 照井清一 3) 新井太郎 5) 小栗寛 6) 内藤雅義 7) 寺田博義 8) 伊藤茲楨</p> <p>コロナが世界恐慌中に付き祭典は?</p> <p>浜松祭り中止 甲子園、大相撲、サッカー、野球 中止 延期</p> <p>世界中が、止まってしまった。 オリンピック 2021年7月に延期</p> <p>3期高林修 69歳 1期鈴木真人 61歳 4期浜松市長鈴木康友 63歳</p> <p>市神様祭事は福来寺境内で行う(総代が行う) 餅を配布 オリンピック特集</p> <p>本堂南階段新設、二枚引戸解体して新設、三密対策</p>

2021	令和 3	<p>当番社 倭魂社</p> <p>1月10日 達摩市開催 三交代制、班長制、境内飲食禁止、自転車乗り入れ禁止、甘酒中止、</p> <p>8月 氏子総代 1) 松島知之 2) 照井清一 3) 新井太郎 5) 小栗寛 6) 内藤雅義 7) 寺田博義 8) 伊藤茲楨 祭典は総代と年番で昼間に軽トラックに乗せて渡御したが、炎暑の中で改善が必要ではないか？</p> <p>3期高林修 70歳 1期鈴木真人 62歳 4期浜松市長鈴木康友 64歳</p> <p>令和の大改修実施 笠井商店会 150万円、いけとも 100万円、住職 100万円、池田充義 1000万円寄付金あり、実施する 水屋の解体、楠の枝切る、燈籠の移転、石碑4基移動、歴代住職の墓を新築、境内の整備で広がった</p> <p>オリンピック開催した。多くの感動を与えた。 電通の汚職あり モラルなし経済人の姿</p> <p>源長院の晋山式典は無事に行った。終了後に雨が降った。</p>
2022	令和 4	<p>当番社 政諾社</p> <p>源長院は境内整備を行った。北駐車場の舗装工事、墓の中の樹木、石碑の台の撤去。</p> <p>晋山式の決算を承諾ご解散した。池田充義総代はこれで勇退した。</p> <p>1月10日コロナの中、達摩市は実施した。露天商飲食は帰宅して食べる。自転車は止める事、甘酒は中止、三交代を実施。</p> <p>役員は家で食事する、招待者は中止、大勢の参拝者あり。シャトルバスは人数制限で運行した2台</p> <p>参道を新設した。本部を改修した、外の展示を住職が創った。サイ企画の一正君急死。</p>

		<p>十湖特集（句碑巡り実施）来年の特集で展示する。（松島十湖痛快人生）本が出版された。</p> <p>豊西幼稚園、豊西小学校の展示を交渉する、松本連合会長</p> <p>商店会 日帰り旅行実施 バス 2 台 お客様への感謝をこめて実施した</p> <p>8 月祭典は石神宮司、氏子総代と神輿を年番が引いて渡御は東裏通り還御は西裏通りを引いた。屋台行動、稚児行列は無し</p> <p>3 期高林修 71 歳 1 期鈴木真人 63 歳 4 期浜松市長鈴木康友 65 歳</p>
2023	令和 5	<p>当番社 笠勢司 年番長 岡本純、副年番長 鈴木</p> <p>1 月 10 日だるま市実施 。露天商出る、三密で実施、子供の自転車置き場問題点があり。駐車場の問題あり シャトルバスは運行道路変更して円滑になった。 豊西幼、小見学あり来年は会館への展示依頼する。</p> <p>2 交代制とする。達摩市を将来に向けて考えようと提案あり。来年 3 月にバス 2 台で東京の深大寺を視察する。</p> <p>4 月 18 日役員、有識者、住職、総代 24 名参加して意見を聞く。将来への継承をする為の、曜日の変更を議題にかける 1 月第 2 週の 3 連休を利用したらどうか？</p> <p>5 月 14 日だるま保存会の総会を開く。</p> <p>コロナは 5 月 11 日に 5 類に移行した。浜松祭開催（飲酒禁止）どうする家康の行列実施。笠井祭実施</p> <p>5 月から 7 月に発表を計画中 笠井の祭の歴史を広める 漫画のチラシ、スマホで見れる 映像でみる歴史</p>

		<p>秋に豊西小の歴史 150 周年展示会を計画中</p> <p>第 18 回浜松市市議会選挙 4 期高林修 72 歳当選 2 期鈴木真人 64 歳当選 1 期浜松市市長中野祐介 43 歳</p> <p>4 期鈴木康友勇退 66 歳</p>
2024	令和 6	<p>当番社 倭魂社 年番長 源馬利弘、副年番長 柳林峰房</p> <p>1 月 10 日だるま市実施。露天商出る。通常どおり実施。</p> <p>来年からの開催を 1 月第 2 日曜日に決定する。</p> <p>浜松祭通常開催（飲酒禁止）</p>
2025	令和 7	<p>当番社 政諾社 年番長</p> <p>1 月 12 日（第二日曜日）だるま市開催。三連休の実施に変更したが盛況。</p>